



株式会社アイファースト

創立20周年記念誌

# 創立20周年記念誌

「愛」こそ、いちばん  
**I First**

*I First 20th Anniversary*

I First 20th Anniversary

株式会社アイファースト

# 創立 20周年記念誌

このまちで生まれて20年。100年つづく企業をめざして



「愛」こそ、いちばん  
**I First**

株式会社アイファースト



このまちで、  
一から始めました。

わたしたちは湯河原町で生まれ、  
まちと共に歩み、  
成長し続けていく企業です。



## 目次

ご挨拶	4
経営理念・ビジョン	6
式典	8
社会貢献活動	14
教育・表彰等	16
創業の原点と20年の歩み	20
写真で振り返る歴史	28
年表	36
アイファーストの未来	44
組織図・歴代役員任期	49
業績と規模の推移	50
あとがき	52

## ご挨拶

株式会社アイファーストは、お蔭様で創立20周年を迎えることができました。これもひとえに皆様のご支援の賜物であると、心より厚く感謝申し上げます。

思い起こせば24年前、平成12年1月28日、私が25年間勤めておりました西相信用金庫が経営破綻を発表しました。金融機関は潰れないという神話が崩壊し、職員全員の失業が決定し、私は奈落の底に突き落とされたような気がいたしました。

自分と家族の人生はどうなるのだろうか、子供の将来は、と不安に苛まれ、その後10ヵ月間にわたり事業譲渡作業を続けました。  
同年11月13日を以て金庫は解散。

私を含めて170名の職員が失業し、不況の荒れ野に放り出されました。

翌年、私は保険代理店研修制度にチャレンジするため営業契約社員として東京海上に入社しました。3ヵ月毎に成績を問われ、基準に達していないと解雇となる制度です。

3年に及ぶ厳しい保険営業活動を通して、地域の皆様にお取引をいただき、平成16年3月1日に独立。

株式会社アイファーストを創業しました。


独立する半年前、毎日、社名を考えていた時のことです。或る夜、夢の中で、「お客様、保険は愛です。愛がなければ、保険は入りませんよね？」と話している自分がいました。すぐに目が覚め「愛こそいちばん」という言葉が頭に浮かびました。“愛こそ一番、愛こそいちばん、アイファーストだ”と私の脳はスパークしたのです。

社名を株式会社アイファーストと名付けました。

“創業の精神”は、“失われた雇用の復活”です。失業当時46歳の私が、藁をも掴む思いで飛び込んだ保険業界で、お客様の役に立つため独立し、自らの手で、この地域に一人でも雇用を生み出すことが出来たら“自分の人生意義あり”と思えたのです。

私の夢と目標は、アイファーストが、地域に根差す中小企業として、永続的に継続し雇用を創出し続けることです。

人間は誰もが幸せに生きたいと願っています。幸せになる生き方とは、どのような生き方なのだろうか？と自問するとき、「だれかを幸せにしなければならないのではないか」という答えが心に浮かびました。



そのだれかとは、家族から始まり、友人、仕事仲間、お客様、世間様ではないかと思  
います。身近な家族から世の中の人々にまで広げていく努力が、巡りめぐって自らが幸せに  
なる秘訣なのではないでしょうか。

反面、自らの幸せのみを追求して行っても実現できないと思います。なぜなら自分勝手  
な生き方になってしまい、その陰で不幸になる人が生まれてしまうからです。人を不幸に  
して成り立つ幸せなど、この世にないと私は確信しています。

私は常に“創業の精神”を思い立った頃に還り、初心を忘れず「人を幸せにする生き方」  
を天から与えられた自らの使命と考えアイファーストメンバーと共に実践して参ります。

代表取締役

鍋島一博





## 経営理念

「愛」こそ、いちばん

アイファーストにかかわる

すべての人々の

しあわせを実現します

## ビジョン

### いつも心にアイファースト・プライドを



私たちは、地域で最も信頼される唯一無二の代理店になりたいと思っています。その為に日々自己研鑽を怠らず専門性を高め、お客様に心から感動して頂けるように、お客様の困ったを解決していきます。それが私たちの信念であり、アイファースト・プライドです。

### 働きやすく、働きたい会社になる

アイファーストは社員一人ひとりを大切にしており、自由闊達で明るい笑顔に溢れた職場です。社員は夢と希望に満ちており、家族のようにお互いを信頼し、成果を分かち合っています。地元への愛があり、地域社会への貢献と感謝の気持ちを持っています。年齢・性別・経験・立場等に関わらず、どの社員にとっても働きやすく、また、地域からは働きたいと憧れられる会社になっています。

### 人材が人財に成長する会社になる

アイファーストは人が財産、人が資本、人を創る会社です。切磋琢磨して、一生涯人間性を磨き続ける社員になるよう教育します。それぞれに合った適切な指導が行われている為、自発性と経営者意識が培われ、仲間、家族、社会に対して貢献できる素晴らしい人間性を持つ社員に成長しています。

### お客様の幸せを実現する

アイファーストはお客様に親身に誠実に対応し、最善の解決策を提供しています。お客様はアイファーストを信頼し、大切に扱って下さる方だけがいます。家族ぐるみで当社を主たる取引代理店とし（メイン化）、すべての保険を契約しており、又、保険以外のどのようなことでも相談したいと思って下さっています。

### 標準化・平準化され代替性のある組織にする

アイファーストは機能別に組織され、営業担当と事務担当がいます。営業担当は法人や深耕のお客様対応を、事務担当は来店対応や更新業務等を行います。それぞれの業務は標準化・平準化されているため、代替性のある組織となっており、人員の入れ替わり等があってもお客様を変わりなく確実にお守り出来るようになっています。





## 創立記念

### ▶ 創立記念祝賀会

日時 平成16年4月11日(日)  
場所 おんやど恵様  
出席 39名

アイファースト創立年の春、湯河原の老舗旅館おんやど恵様にて、祝賀会を開催いたしました。創立に際し、お世話になった方々をお招きしての、盛大な会となりました。



鍋島の大学時代の恩師、神奈川大学名誉教授・小池栄一先生にご挨拶を賜りました。

## 創立一周年記念

### ▶ 創立一周年感謝会

日時 平成17年4月17日(日)  
場所 おんやど恵様  
出席 45名

創立一周年の感謝会を、おんやど恵様にて開催いたしました。一年間、アイファーストを支えてくださった方々をお招きし、感謝の意をお伝えしました。



# 創立十周年記念

## ▶ 創立十周年感謝会

日 時 平成27年2月18日(水) 17:00~20:00  
 場 所 おんやど恵様  
 出 席 24名

十周年の感謝会は、おんやど恵様にて開催いたしました。司会は落語家の立川志獅丸様にご依頼、お目出度い落語も一席ご披露していただき、大盛況の会となりました。また、翌月還暦を迎える鍋島には田中真澄先生の直筆色紙とメッセージ動画、赤いちゃんちゃんこのサプライズプレゼントが贈呈されました。



株式会社アイファースト 創立10周年感謝会 平成27年2月18日 於 湯河原温泉 おんやど恵



還暦祝い贈呈 (上)  
 志獅丸様の落語 (右)



田中真澄先生の直筆色紙



## ▶ 記念イベント

日 時 平成27年2月25日~28日/3月3日~7日  
 場 所 スーパーオフィス超営業所

特別開催の記念イベントでは、営業所にてガラポンくじやポップコーン、来店記念品の配布などを行い、大いに賑わいました。

# 創立十五周年記念

## ▶ 田中真澄先生講演会

日 時 令和元年6月18日(火)  
 場 所 超営業所

## ▶ 家族感謝会

日 時 令和元年8月21日(水)  
 場 所 エクシブ湯河原離宮  
 出 席 41名



十五周年を迎える令和元年、社会教育家の田中真澄先生をお招きして特別講演をご開催いただきました。力強いお話に参加者一同、心から元気づけられました。夏にはエクシブ湯河原離宮にて、社員とそのご家族への感謝をこめて、記念感謝会を開催いたしました。



# 創立二十周年記念



## ▶ 記念ロゴ

二十周年の記念ロゴは、「愛こそ、いちばん」を表すハートマークに、「アイファーストと皆様を繋ぐ」という想いを込めて、リボンで形作りました。20年の輪を通りぬけて、当社のシンボルであるツバメが空に向かって羽ばたきます。愛と連携と上昇、この三つが二十周年のキーワードです。

色はアイファーストのテーマカラーのブルーとオレンジです。

## ▶ 各種グッズ・広告



営業所の正面に、横断幕を設置。(有)アートたかはし様のご制作です。



二十周年を記念して公式LINEスタンプを発売。便利に使える日常敬語を40種類登録しました。



記念クリアファイル（左下）とロゴシール（右上）。クリアファイルは(株)ケイツープリント様のご制作です。



記念ポスター。晴れた日に湯河原町が見渡せる丘に行き撮影をしました。

## ▶ 家族感謝旅行

日時 令和5年11月25日(土)

場所 チームラボプラネッツTOKYO、浅草ビューホテル、浅草散策

出席 33名

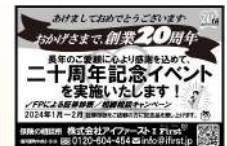
アイファーストの経営方針大綱の一つに『メンバー（仲間）一人ひとりとその家族を大切に、皆が幸せになれる企業にする』があります。二十年間アイファーストの社員を支えてくれたご家族へ感謝を込めて、豊洲・浅草バス旅行を企画しました。チームラボで皆とわいわい交流、絶品ホテルビューフェで日頃の疲れを癒し、自由散策で浅草を満喫しました。



## ▶ 記念イベント

日時 令和6年3月1日(金)～2日(土) 10:00～16:00  
 場所 スーパーオフィス超営業所

地域の皆様のために、特別記念イベントを開催いたしました。ガラポンくじや、無料証券診断キャンペーン、キッチンカーなど、大賑わいでした。たくさんの笑顔と楽しい思い出の詰まった素晴らしい二日間となりました。



新聞折込チラシ(左)と新聞広告(右上)は、地域に広く配布しました。来店客には保険まるとファイルの特別チケット(右下)をプレゼントしました。



エフエム熱海湯河原金井様も取材にご来店。盛り上がっているイベントの様子を放送していただきました。



ガラポンや保険相談で続々とご来店されました。笑顔の溢れる窓口の様子です。



少しでも地域に貢献したいとの想いから、ガラポンの景品は地元のお米やお酒、お菓子など、品揃えにこだわりました。





## ▶ 創立二十周年祝賀会

日 時 令和6年3月5日(火) 17:00~20:00

場 所 おんやど恵様

出 席 39名



創立二十周年の祝賀会はおんやど恵様にて開催しました。二十年という大きな節目として、創立時から長くアイファーストを支えてくださった方々をお招きし、盛大に執り行いました。司会は十周年の際にもお世話になった立川流真打・立川志獅丸様にご依頼しました。素晴らしい進行のおかげで、大いに盛り上がった会となりました。

また、今回の周年行事は、社員全員が各委員会に所属し、一から企画実行に携わった初めての試みでした。社員一丸となり一つの目標に向かうことで団結力が高まり、次の十年に向けて決意を固めました。



株式会社アイファースト 創業二十周年記念式典  
令和六年三月五日 於 おんやど恵



志獅丸様に、『小説信金破綻』にちなんだオリジナル落語をご披露いただきました。どんでん返しを展開に会場が沸き立ちました。





社長と専務へサプライズの花束贈呈



お祝い動画の上映



式典委員会の三名 (上・下)



信金時代の仲間と





## 社会貢献活動

アイファーストは地域振興や社会貢献、青少年の健康増進を目指し、様々な活動を行ってまいりました。スポーツ大会の主催、文化事業への協賛、ボランティア、お祭りへの参加、福祉団体への寄付など、積極的に取り組んでいます。

### ▶ アイファーストカップ

当社主催で地域の小学生サッカーチームの大会「アイファーストカップ」を開催しております。2023年度の第四回目の大会では12チームが参加、白熱した試合となりました。



今年の優勝チーム YS GEMの皆様  
(2023.9.16)

### ▶ 愛ファースト学童野球交流大会

YBC（湯河原ベースボールクラブ）様主催の少年野球大会に協賛させていただいております。2023年度は湯河原、小田原、静岡の地域所属の4チームが参戦。

回を重ねるにつれ、益々の盛り上がりを見せています。



(株)ケイツープリント様  
ご制作の記念タペストリー



YBCの河野監督（左）と  
アイファースト鍋島（右）

### ▶ 箱根駅伝の応援

アイファーストは駒澤大学陸上競技部の鈴木芽吹選手を応援しています。陸上部の寮には毎年、地元のお米を送っています。



2024年第100回箱根駅伝  
2区を疾走する鈴木選手



鈴木選手がご挨拶に  
ご来店くださいました。



箱根駅伝には旗を持って  
応援に行きました。

### ▶ パラリンピックボランティア

日時 令和3年8月22日(日)～28日(土)  
場所 伊豆ベロドローム

東京2020オリンピック・パラリンピックの大会ボランティア（ゴールドパートナー枠）で一週間、パラリンピックのボランティアに行きました。所属は人材管理のPEMという部署でした。



## ▶ 落語会協賛

アイファーストは立川流の真打・立川志獅丸様を応援しております。ゆ処こでん様主催のこでん寄席への協賛をさせていただいたご縁で、立川らく太様（現・志獅丸様）を知りました。それから式典の司会や落語を、ご依頼しております。



笑いの絶えないこでん寄席



記念式典での司会・志獅丸様



## ▶ 災害復旧支援・防災活動

当社では地元貢献のために社員が積極的に地域の消防団に所属し、災害復興や防災、警護活動に参加しています。



伊豆山土砂災害復旧支援



花火大会警護



出初式

## ▶ 愛ふぁーすと新聞

アイファーストでは、独自の新聞を発行し、お客様のお店や事業をご紹介します。鍋島の研修生時代から20年余り、少しでも地域の皆様のお役に立ちたいと続けている仕事です。



## ▶ 地域イベントへの参加

地元振興を目的として、地域のお祭りやスポーツイベントなどに積極的に参加させていただいております。



やっさ祭り



小田地下での保険相談会



湯らっくすマラソン



ふれあい産業祭



# 教育

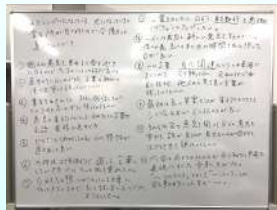
## ▶ 経営理念・ビジョン

当社の柱である経営理念とビジョンは、社員全員で長い時間をかけて、徹底的に話し合って構築しました。一切妥協せず本気になって考えたからこそ、納得のいく結果に繋がりました。

私たちは一人ひとりがアイファーストの使命と未来を担っています。



経営理念再構築プロジェクト



ビジョン策定会議



理念とビジョンは毎週の朝礼にて読み合わせを行っています。

## ▶ 勉強会

アイファーストは、人が財産、人が資本、人を創る会社です。一生涯人間性を磨き続ける社員になるよう、様々な社内勉強会や外部講師を招いての研修を積み重ねています。



テーマを決めて毎月勉強会を行っています。

KSC研修サポートセンターの佐藤カヨ子先生によるビジネスマナー研修



## ▶ セミナー実施

当社は人財育成に力を入れており、中小企業向けに管理者教育、営業育成、接客対応、安全運転教育など、様々なセミナーを実施しております。



## ▶ BCP

災害などの緊急事態に際し一早く事業継続・早期復旧ができるよう、BCP（事業継続計画）を綿密に策定しております。社内にBCP委員会を設置し、定期的な避難訓練や、消防団員によるAED講習などを実施して、いざという時のための備えを怠らないようにしています。



AED講習会（左）  
避難訓練（下）



# 表彰等

## ▶ 表彰

アイファーストは東京海上に認められた優秀代理店として数々の賞を受賞しております。2023年には、ついに超保険生保・第三分野付帯率の部にて全国1位(※)の栄誉を獲得。2024年には專業代理店年間優績表彰制度にて15年間連続の入賞を果たしました。

※2023年2月末時点/全TOPQUALITY代理店497店中  
(東京海上日動の代理店は全国45,920店、そのうちTQ代理店は497店です。)

### 代理店連月成約表彰 (2004~2006年)

- ◇年間最優秀賞1回、年間優秀賞2回
- ◇半期最優秀賞4回、半期優秀賞2回

### 神奈川支店專業代理店年間優績制度 (2011~2015年)

- ~襷をつなごう神奈川駅伝!~
- ◇生保・長期第三分野の部：総合優勝2回、入賞複数回

### 專業代理店年間優績表彰制度 (2005年~現在)

- ◇生保・長期第三分野の部：最優績2回・優績17回
- ◇損保の部：準優績1回~
- ◇他：超保険特別賞1回
- ◇連続入賞：15年目 (2024年現在)
- ◇入賞通算：19回

### 超保険生保・第三分野付帯率

- ◇TQ代理店内全国1位 12回連続獲得中 (2024年現在)

### 認定

- ◇TOP QUALITY代理店ランクII
- ◇ロイヤルステイタスクラブ会員



ロイヤルステイタスクラブ  
新規会員代表挨拶 (2006.9.8)



コンベンションにて (2013.6.6)



## ▶ 掲載

当社の取り組みは書籍や新聞など、各種の媒体にて掲載いただいております。

## ▶ 健康経営優良法人

アイファーストは6年連続で経済産業省の認定制度の「健康経営優良法人」に認定されています。当社は社員の健康を第一に考えており、福利厚生充実や、やりがいをもって働ける職場づくりに努めています。



タウンニュースにて健康経営優良企業としての取り組みを取り上げられました。(2019.4.5 No.391号)



笑顔の絶えない和気藹々とした職場です。



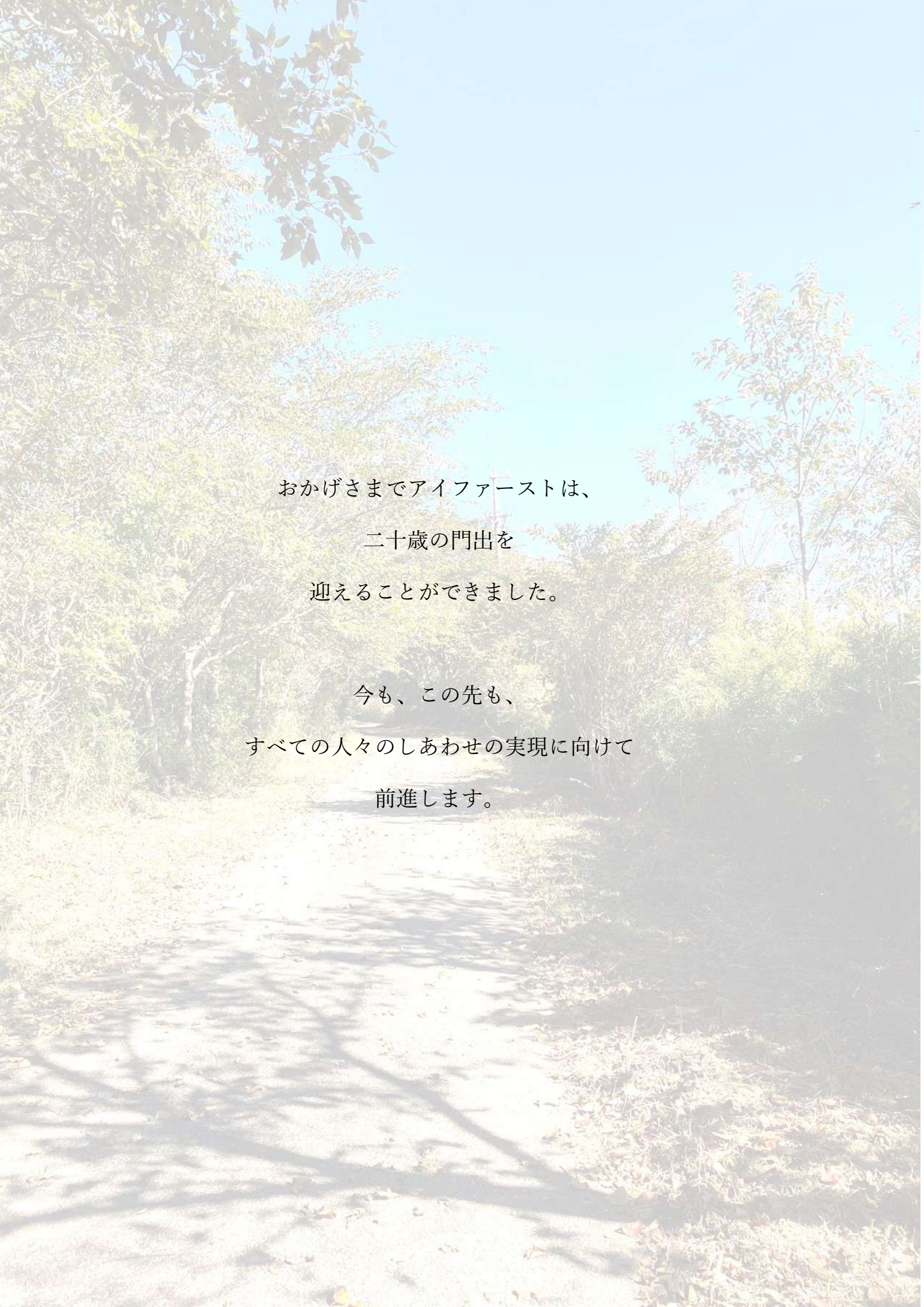
著・田中真澄『人生の勝負は後半にあり〜中高年起業のすすめ〜』(ばるす出版 平成26年)188~189頁【「しつけ」の徹底を武器に人生を好転させていく優績経営者の事例】として取り上げていただきました。

ばるす通信にて「湯河原に生まれ湯河原に生きる」という題で、鍋島の半生や志を二回に渡ってご掲載いただきました。(2023.6.15・8.15 216号・218号)

保険毎日新聞にて「地域に根差した代理店経営」として、当社の取り組みや経営を大きく取り上げられました。(2022.1.28 第19095号)







おかげさまでアイファーストは、  
二十歳の門出を  
迎えることができました。

今も、この先も、  
すべての人々のしあわせの実現に向けて  
前進します。

歷史



## 創業の原点と20年の歩み

### [西相信用金庫の経営破綻]

アイファーストは平成15年12月16日に設立、翌年の平成16年3月1日から営業を開始しました。企業は創業と共に黎明期、成長期、安定期、衰退期と推移すると言われますが、創業20年を経て現在のアイファーストは未だ成長期です。

月日の流れは、ふり返って見れば、なんと速いものでしょうか。光陰矢の如しとはよく言ったものです。アイファースト創業の原点は、私が神奈川大学を卒業して25年間、勤めていた西相信用金庫が経営破綻したことにあります。平成12年1月28日、金曜日の午後3時30分、西相信金理事長と事業譲渡先信金理事長が居並び、集まった記者たちの前で経営破綻を発表したのです。NHKテレビのニュースでも中継されました。経営破綻の10年前から職場の尊敬する先輩、鈴木克英氏、栗原道生氏、三科雅敬氏と飲むたびに「不良債権処理と経営者の人材登用が今のままでは必ず潰れる」という話題が出たものです。

経営破綻発表後、人事課長の私に各店から電話が鳴り続けました。「給料はどうなるのか」「退職金は払われるのか」「就職先の斡旋はあるのか」等々、不安に苛まれた職員が助けを求めて人事課に問い合わせに来てのです。問い合わせは事業譲渡作業が終了するまで続きました。事業譲渡作業は職員全員で行いましたが、お客様や同僚のことを考えると辞めることも出来ず、解散の当日まで大部分の職員が勤め上げました。

当時、経営破綻した信用金庫の中には、職員の40%も退職した例があることを考えると、西相信金の職員は立派だったと思います。私も他の職員と同様に失業の道を選びました。人事課長という立場を利用して再雇用を手を挙げることは出来なかったからです。ただ、失業後どうするのか、当時は何も考えられませんでした。

### [信用金庫業界が鍋島を育ててくれた]

昭和51年4月、私は西相信金に入庫しました。当時は、ドルショック、オイルショックと世界的な衝撃が続き、日本は経済的危機を迎え大不況となったのです。この年は公務員の採用さえありませんでした。私の母は自宅に集金に来る信金職員に、信金が新卒募集しているなら就職願書を持って来て欲しいと頼みました。将来どのような仕事に就きたいか、皆目分からなかった私は、母が手渡した就職願書を見て「受かってもらえないよ」と言って受験。結果は合格。仕方なく「1年で辞めるよ」と言って入庫したのです。当時、安定した金融機関に勤めるということは、一生涯働くことを意味しました。もし、辞めたら何か不正をしたのではないかと世間から訝しがられ、次の仕事はなかなか見つからず、経済的に転落していただけでした。1年で辞めると言った私も辞められず、数年が経ち預金係長に昇進し、良き伴侶を得て結婚もしました。一所懸命仕事はしていたつもりでしたが、勤め先にも同僚にも、まだまだ馴染めないままでした。

ある日、鈴木克英融資課長主催の銀行業務検定「財務3級・4級試験」に合格を目指した勉強会が開かれました。大会議室に全店から数十名の職員が集まったのです。大会議室の前方隅にポップコーンの機械が置かれ、融資課職員がポップコーンを作り皆に配り、まるでお祭りのような勉強会でした。講師の鈴木課長は、A3用紙たった15枚の手作りテキストを配布。「二週間かけてこのテキストを勉強し1日1問問題を解けば、必ず合格します。私に問題の答えをファックスすれば添削して返します」と宣言したのです。勉強会に感激した私は、毎日問題を解いては鈴木課長にファックスしました。テキストには仕掛けがあり問題が財務2級の難問だったのです。この難問を解くには、参考書を隅々まで何度も繰り返し調べる必要があります。これを二週間続けたことで、私は初めての財務3級試験に合格することが出来ました。



西相信用金庫本店・本部



経営破綻発表時の管理職たち



信金時代の「せいしんジョギングクラブ」の仲間たち



信金時代の鈴木氏  
(前列左)



信金でやさ  
祭りや武者  
行列にも参加



これがキッカケで金融専門知識の習得に目覚めました。鈴木課長に対する絶大の信頼も生まれました。良い仕事をするには、しっかりとした勉強が必要だと実感したのです。28歳からあらゆる金融専門試験を受け続けることで知識が充実し、金融機関社員としての能力が少しずつ向上しました。その後、順調に昇進し本部の業務課長になりました。38歳の時でした。

### [西相信用金庫で成し遂げられたこと]

勉強会で自信を得た私は、信金の実務試験、銀行業務検定を、毎年受験し続けました。鈴木課長の教えのとおり脳みそに知識が定着するまで受けなければイケナイと思ったからです。

当時、私は温泉場支店の預金係長でした。毎月開かれる役席会議の冒頭、清海哲男支店長から「若い職員が実務試験合格勉強会を開いて欲しいと言っている、役席会で出来ないだろうか」との提言がありました。私は、即座に「やらせてください」と志願。清海支店長の許可を得て、早速、参加者を募り、金曜土曜の午前7時に集合と号令をかけ実施。私が一つのテーマでテキストを作成し実務試験合格のため勉強会を始めたのです。毎日、問題集と解説を読み、鉛筆で下書きを書き、妻に清書してもらいました。妻は、昼間の仕事、家事を終えてからの夜中の作業でしたから、とても大変だったと思います。半年間、勉強会を続け6人の受験者のうち2人が合格しました。

勉強会は3年間続けました。金融専門知識が充実すればするほど、業務にも自信が生まれ、当時30代の私は“なせばなる、やれば何でも出来る”との確信を得たのです。この勉強会で私が得たものは、一緒に勉強した仲間のなかで、河野清利氏と河野哲也氏という一生涯の大切な親友ができたことです。

その後管理職試験に合格し預金増強をつかさどる本部業務課の課長に昇進しました。本部の仕事に就いて驚いたのは、本部の言うことなど営業店は聞かずもろがないということでした。何とか預金増強をしなければと思い「預金増強プロジェクト」を立ち上げ、定期積金の増強を図ることとしました。信用金庫業界の主力商品、定期積金を3年から5年の期間とし、100万円必ず貯まる商品としたのです。地元の高校生漫画家、上原ちぐさ氏にキャラクターを描いてもらい、プロジェクトチームは若手職員中心に組み、侃々諤々の話し合いを経て「源たまるくん」と「夢かなえちゃん」を生み出しました。定期積金証書にキャラクターを印刷し売り出しました。企画の段階から協力して来た瀬味証券印刷株式会社の担当者、山本賢一氏は10数年後にアイファーストのメンバーとなり、現在も営業をがんばっています。

折角新商品発売に漕ぎ着けたものの、営業店からは長期の定期積金は売れない、売り方が分からない、掛け金が高すぎるといった文句の嵐です。それならば、と、店課長会議にて、各店の営業マンと事務の女性を集め「実践訓練ツアー」（お客様宅を一軒一軒ペアで訪問し3日間で契約をいただく訓練）を実施する、と提案しました。全店で行うならば仕方ないと店長たちは渋々承諾。実践訓練、朝夕の講師は私が行き、課長である私もお客様開拓に出かけ、どのペアよりも獲得することを目指しました。22回の実践訓練研修で20勝2敗でした。2敗は預金係の優秀な女性たちでした。

キャラクターを使った広報活動は関東信用金庫協会から広報活動の優秀賞を授与されました。実践訓練ツアーを通して、私自身、営業の実力が向上したと思います。正に「ミルクを飲む人よりミルクをリヤカーで運ぶの方が健康になり力がつく」という言葉がぴったりの研修でした。



たまるくんの  
各種グッズ



鍋島のがけた  
様々なキャンペーン





4年後、人事課長となりました。実践訓練という研修を実施したことが人事課への転属となったのではないのでしょうか。人事課では、「能力成果主義賃金の構築」「職能資格・昇格制度の改定」「人事評価システム」等、人事制度改革を目指しましたが、8割方実現したところで西相信金が経営破綻したのです。給与制度改革に手を掛けようとした頃、重箱の隅をつつくようなことばかり言う上司がいたことで、経営破綻までに改定することが出来ず、結果的に道半ばで頓挫したことになってしまいました。

もし人事制度改革で給与規定まで変更できたなら、30代の職員の退職金が、かなり増加したことは間違いなく、成し遂げられなかったことは返すがえすも残念でなりません。

人事課での成果は、多くの研修を実施できたこと、オリジナル制服を新たに制作しユニフォーム雑誌に掲載されたこと、電話対応コンクールで地域No.1となり、関東大会まで勝ち上がった女性職員がいたことは、大変誇れる成果でした。職員たちを信じて力を発揮してもらったことで成果が上がったことが何よりも嬉しくありがたいことだと感動しました。

### [東京海上小田原支社長の訪問]

経営破綻発表から7日後、東京海上日動小田原支社の佐野雅之支社長が、人事課長である私の元に来られました。「ハゲタカのように申し訳ありません。経営破綻して、たった1週間で転職の話に来るのは」という枕言葉で話し始めたのは、「東京海上には代理店研修制度があります。西相信金の職員でチャレンジする方がいませんか。出来ましたら、ご紹介いただきたいのですが」とのことでした。私が冗談半分で「私などいかがでしょうか」と言ったところ、「事業譲渡先信金に行くのでは?」と訊かれました。「いえ、私も失業します。人事課長として最後まで、できる限り皆の就職先を探さなければいけませんし、人事課長の立場を利用して事業譲渡先に行ったと言われたくないので」と答えました。支社長は「今までのどのような仕事をして来られましたか」と尋ねたのです。私はこれまでの仕事をまとめたファイルを作っていましたので、それを見せました。ファイルを通り見ると佐野支社長は「あなたは必ず成功します。ぜひ東京海上の代理店研修制度にチャレンジしてください」と言われました。

佐野支社長の言葉に、私は、なぜ成功するのか、保険業界で成功するということは、どういうことなのか?と疑問でした。ただ、営業の世界で身を立てるしかないかと覚悟していた私は、失業後、東京海上の営業契約社員となり厳しい保険営業にチャレンジすることを心の中で決意していました。しかし、佐野支社長には、人事課長という立場があるので、自らの身の振り方を話す訳にはいかないことを話し了解してもらいました。以後、佐野支社長は2週間に一度必ず人事課に訪問しては、私を励まし「必ず東京海上へ入社してください」と言って帰って行きました。私は営業マンとして優秀な職員を佐野支社長に教え勧誘してもらいましたが、なぜか一人も東京海上に行く職員はいませんでした。

それから10ヵ月後の平成12年11月13日、解散の実務を終え、西相信金は解散し、さがみ信金に事業を譲渡しました。事業譲渡日の前日、西相信金の本店建物から近隣の企業が役員室や応接室の高価な調度品を無償で運び出しているのを見ても、私には何の感慨も起きませんでした。この十ヵ月間、堅牢と思われた信用金庫という組織を、積み木崩しのように各部署で解体して行きました。私は「夢も希望もない後ろ向きの仕事がやっと終わった」という安堵の心で一杯でした。



佐野支社長



鍋島が使用していた手作りのデモブック

## [東京海上日動代理店研修制度チャレンジ]

平成13年1月、東京海上の代理店研修制度にチャレンジしました。2カ月毎に研修生が採用されますが、私の同期は全国で86名もいたのです。神奈川支店で採用された同期は8名、その中で保険会社出身者が3名いました。最初のガイダンスで、その3名が制度に関することを詳細に質問する姿を見て、私に保険営業が出来るだろうかと不安を覚えました。2か月間の研修では、2週間ごとに栃木にある東日本研修所に合宿し、朝から夕方まで保険の勉強に明け暮れます。夜も自室で勉強しました。研修の最後には、ペーパー試験とロールプレイング試験（お客様と営業の役割を演技する研修）がありました。受験後研修所長の面接があり、開口一番、言われた言葉は「鍋島さん、その年齢で能くペーパー試験受かりましたね」「ロールプレイング、あまり上手ではありませんね」でした。私としては、信金時代ずっと勉強して来たので、特に勉強が大変ということはないと思っていました。ロールプレイングが下手ということは心外でしたが、仕方ないかというような気持ちでした。2か月間の初期研修が終了し、営業に特化した毎日が始まりました。

次回研修までの4ヵ月間で、損害保険100件、損害保険料700万円、生保60件、挙績1,500万円の契約が出来ました。信金の仕事为天職と思っていた私は、この期間に保険業界为天職と確信したのです。三年後、起業して代理店を創り、“失われた雇用の復活を遂げること”が夢と希望、志となりました。



地域のイベントにも積極的に参加

初期研修から4か月後、東日本研修所のフォロー研修に参加したところ、研修所長は「これだけの成績を挙げられたコツを皆さんに教えていただけますか？ビデオも撮りたいのですが、よろしいですか？」と態度が一変しました。その後、代理店研修制度時代の私は必死で営業し同期トップで卒業することが出来ました。

お陰様で、アイファーストという会社を起業することが出来たのです。

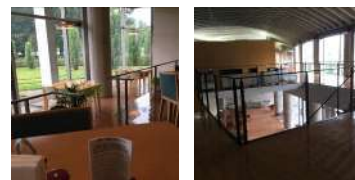
## [アイファースト黎明期の事故に四苦八苦]

アイファーストを起業してからの5年間は黎明期であり、激動と波乱の連続でした。多くの困難な試練を与えられたのです。事故があると、果たして保険金が支払われ解決するのだろうかと不安で眠れない夜を過ごしました。

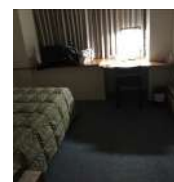
実際に企業のお客様の賠償責任事故があり、保険金支払いの対象にならないという事故がありました。お客様からも厳しい抗議があり、その対応に四苦八苦しました。また、建物の防水工事の際に、誤って床に傷が付いてしまったという事故もありました。代理店として何とか保険金の支払いをして欲しいと損害課に頼み込みましたが、床全面の修復は認められず、傷ついた部分のみの支払いとなったのです。お客様のお怒りは収まりませんでした。

他にも忘れられない事故は数多くあります。自動車事故で積み荷が特殊なもので、保険の対象とならないこともありました。お客様は保険が出るだろうとっていて、担当者である荒井正太郎（現在、常務取締役）と私でお詫びをしましたが、許してもらえません。私は事前の打ち合わせもなく、お客様の前で荒井の肩と頭を平手で殴り、「お前がイケナイ、謝れ」と言ったのです。荒井は私に殴られながらも、私の意図を阿吽の呼吸で察し謙虚に謝ってくれました。平手で殴ったことを、あとで荒井に謝ったことはもちろんです。

保険の契約は、事故が起きた時、保険金が支払われてこそ、加入の価値があるということです。保険を引き受ける際、細心の注意とお客様へのご説明が大切だということを、数々の事故対応を経験する度に学んだ時期でした。



東日本研修所の風景



創業当時のメンバー荒井（左）と松原（右）



一方、仕事を一所懸命行っていると応援してくれる意外なお客様も現れるものです。「この数年、昼夜、年中無休で働いている君を陰ながら見て来た。よくやっている。私の会社と協力しないか」と、ある社長から声を掛けられたこともあり、パートナーとして協力体制を敷きました。よく行く居酒屋で時々会う見知らぬ方から「保険の見直しをして欲しい」と言われ保険証券写を見せていただくと勤務先の大きな保険でした。元西相信金のお客様にご挨拶に伺ったところ「あなたを待っていました」と言われ契約をいただいたこともありました。時々奇跡のようなことが起こり、元気が出てがんばって来ることが出来たのです。

アイファースト創業5年目以降、成長期に入り、損害保険は順調に伸長し、生命保険も毎年表彰基準を超えることが出来ました。保険金の不払い問題のあった2007年は表彰基準を超えることが出来ましたが、ボディブローのように影響があり2年後の2008年度は表彰基準を超えることが出来ませんでした。その後、15年連続表彰されることになりました。創業20年間で通算19回の表彰です。

### [アイファースト存続の危機]

どのような企業にも存続の危機はあるものだと思います。創業して間もない頃、お客様の保険を引き受けるに当たって、細心の注意を怠ってしまったがために、誤った引き受け方をしてしまい、保険金の支払いが出来なかったことがありました。この問題が解決しなければ、廃業しなければならないだろうかと思ひ悩みました。半年後、思わぬことから解決しましたので、アイファーストを継続することが出来たのです。解決の糸口は、ある方のご尽力があったのですが、人のご縁に恵まれ危機を脱出できたことは、天に感謝としか言いようがありません。

「人は城、人は石垣…」は武田信玄の言葉と言われますが、つくづく“企業は人なり”だと考えます。創業10年を迎えた頃、思わぬ出来事が起こり、突然、アイファースト存続の危機が訪れました。社長の方針が気に入らず、人心を惑わすような言動を繰り返す人間が現れたのです。私は最悪、アイファーストが分解する可能性もあり得ると覚悟しました。しかし、私がメンバー一人ひとりを心から信じ切ることで、その難局を乗り切ることが出来ました。この出来事で、裏表のある人間、人を悪い方向へ誘導する人間、消極的な気持ちを扇動する人間は、組織をグラつかせ、組織存続の危機を招くこともあると学んだのです。以来、このような人間を極力採用しないよう留意していますが、人は難しいものです。いくら適性試験を実施し、面接や面談を繰り返しても、一緒に仕事しない限り本当のことは分かりません。しかし、“人を信じたがためにアイファースト存続の危機を迎え、人を信じ切ることで危機を乗り越えた”という事実は、企業経営の要諦の一つを学び、素晴らしい経験をさせてもらったと心の底から感謝しています。



湯河原町を背景に

### [アイファースト仕事仲間のこと]

アイファーストの人間創りは、社長の私が幾ら号令をかけても一人では出来ません。仕事仲間全員の協力が必要ですが、皆、前向きに会社が良くなることを目指して行動しています。このことは鍋島専務が仕事仲間一人ひとりを気遣い、思いやりに満ちた「目配り」「気配り」「心配り」をさりげなく行い皆の気持ちを和ませ、豊かにして来た結果だと確信します。私が気付かないこと、私の足りないところを、専務が陰ながら補佐し、支えてくれたお陰です。

私が、これまで、何とかアイファーストを維持存続して来られたのは、メンバー全員のお陰だと深く感謝しています。皆に共通しているのは、素直、プラス発想、勉強好き、熱意、明るさ、真面目、責任感、誠実、礼儀正しさ、謙虚さ、一所懸命、ユーモア、仲間に優しく寛大なところ。このようなメンバーに囲まれている私は、いつも幸せを感じながら仕事をしています。私たちメンバーが夢と希望に満ち、志を掲げ、誇りをもって仕事に当たることに、心から共感共鳴してくれる仲間を、今後も増やしていければ、とてもありがたいことです。



わきあいあいとした日常の光景

## [アイファースト日本一位への道]

アイファーストは人間関係を最重要に考え、職場の環境作りに心を砕き、土壌づくり風土づくりを実践して来ました。職場環境を整えることで人心の安定を図り、人間関係を良くするために、挨拶、返事、良き言葉遣い、清掃等を励行し、互いに感謝の気持ちを醸成するような仕組みを考え実行して来たのです。当たり前のことをあたりまえに実践すること、自由闊達な社風、分け隔てなく、皆がどのような意見でも言えること、成果を分かち合い互いに喜び合える風土を培って来ました。

「アイファースト心得帳」の唱和もその一環です。アイファーストのメンバーは互いを気遣い、助け合い、協力し合い、話し合い、常に業務を改善し続け、チームワークを大切にしようとする組織に成長して来ました。その甲斐あってか、令和に入り、20代の新卒の若者が3人（男性2人・女性1人）入社し、順調に育っています。かれらの成長を心から願ってやみません。アイファーストが永続的に存続する会社として成長できるために、かれらの成長は欠かせません。いつか後輩や先輩、同僚から頼りにされ、地元の皆様から信頼される営業社員として、成長していくことを期待しています。

東京海上日動の代理店として、保険の専門知識を向上させ、地域一番店を目指し、唯一無二の存在となること、働きやすく働きたい会社、地域に住む皆様から憧れられる会社、メンバーが夢と希望を持ち健康で明るい笑顔あふれる会社、となることを目指して来ました。お客様の役に立つため、お客様が加入している、すべての保険を見直すことが基本です。お客様それぞれに異なる人生があり、家族構成や財産といった人生の背景も違います。

近い将来、遠い将来、お客様が困ったことになる問題があれば、アイファーストがその解決の糸口を見つけ、安心な状態にするのです。お客様が困っていることを解決することこそがアイファースト第一の使命です。アイファーストのメンバー全員が、この使命を果たそうと考え行動することによって、お客様の取引率の向上が図られ、令和5年「超保険第三分野付帯率全国第一位」となりました。全国の代理店は4万5千920社存在し、そのうちTOPQUALITY代理店は497社（令和5年2月末時点）です。お客様一人ひとりが“保険はアイファーストに任せていれば大丈夫”と信頼してくださっている証ではないでしょうか。私共アイファーストに保険の全てを任せることで、お客様は「安心と安全」を得ることが出来ます。その信頼に応えるべくアイファーストメンバー全員で日々精進し、業務に精励していく決意です。

創業25周年、30周年に向けて、アイファーストの歩みは、着実に100年企業への礎を築き上げるものとなるでしょう。



新人募集のポスター。同じ志の仲間を増やしていくことが私たちの使命です。



代表取締役 鍋島一博



二十周年記念横断幕



毎年恒例の初詣

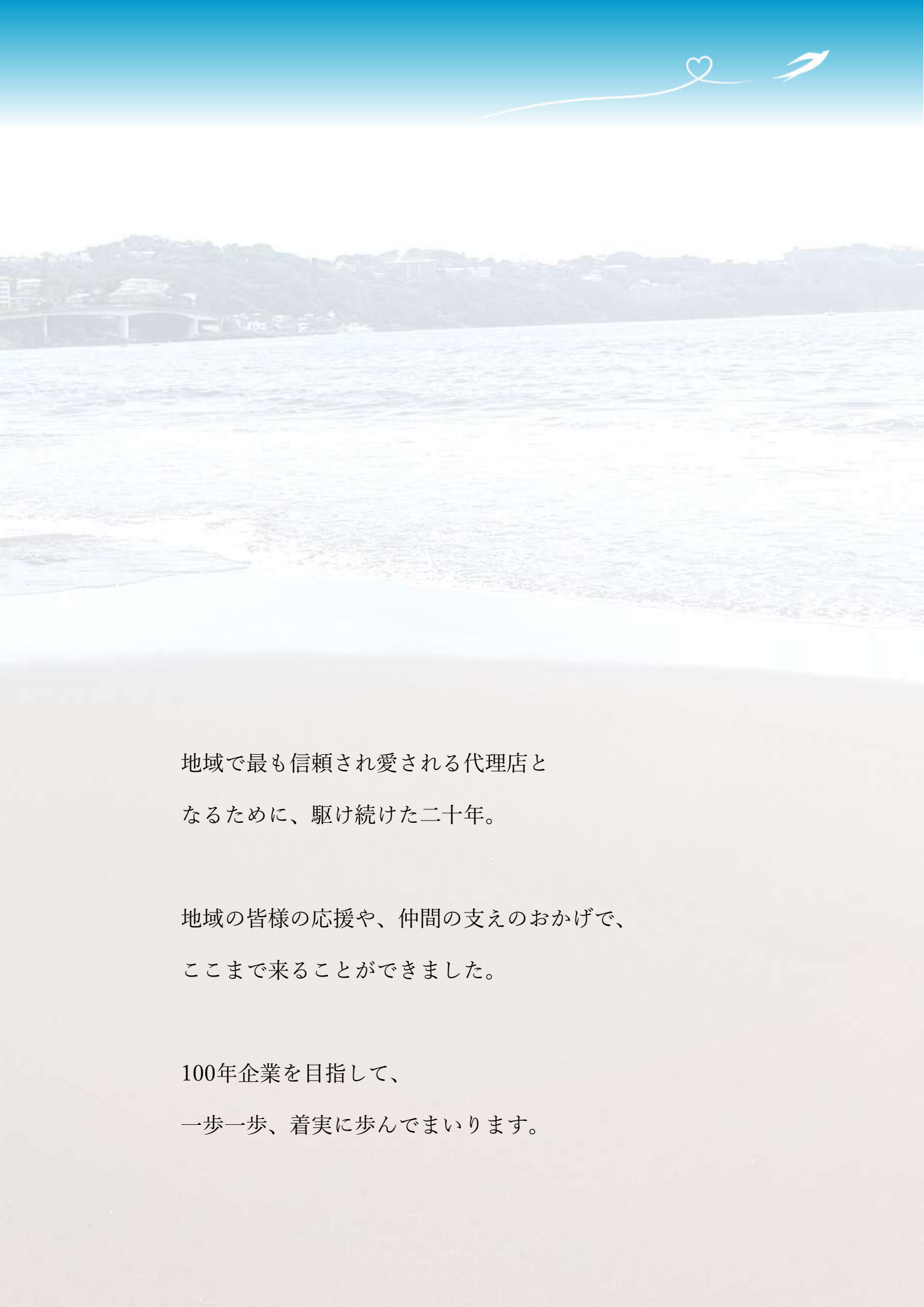


楽しい仲間です!









地域で最も信頼され愛される代理店と  
なるために、駆け続けた二十年。

地域の皆様の応援や、仲間の支えのおかげで、  
ここまで来ることができました。

100年企業を目指して、  
一歩一歩、着実に歩んでまいります。

# 2000～2002 アイファースト創業前。夢から現実へ、一歩ずつ!

～三人の恩師の存在がアイファーストを誕生させ成長させた～

平成12年1月28日、前職の西相信用金庫が経営破綻した結果、同年1月13日を以て金庫は解散。私を含めて170名の職員が失業し、不況の荒れ野に放り出されたことは、巻頭の挨拶で述べました。

西相信用金庫に私が勤めた25年間は、社会に通用するビジネスマンとして成長させてもらった期間でした。

学生時代、将来への夢や希望も特になく、人生をどう生きるかも考えられなかった私が、致し方なく就職したのが、西相信用金庫でした。信金は職員の能力向上のため独自の研修を実施していましたが、上部組織である全国信用金庫協会（全信協）も各金庫の職員レベルを上げるために様々な研修を実施していました。私も初級・中堅・上級管理者研修その他の研修に派遣され、管理者としての能力向上、金融専門知識の充実を図ることが出来ました。

信用金庫業界で預金量100兆円を達成した平成10年、全信協は全国の信金職員向けに論文コンクールを実施しました。テーマBは「信用金庫人としての生きがい論」でした。当時の私は、信金の仕事が天職であり生き甲斐も感じておりました。過去の経験を題材にした論文で応募したところ入賞したのです。全国15万人を擁する信金職員の中で、応募職員329名の内の9人に選ばれたのですから驚きました。その2年後、西相信金は経営破綻したのです。全国の信金職員の知り合いから思いやりに満ちた電話をもらいました。

「大変ですね。大丈夫ですか」の言葉に心で涙し、「大丈夫です。なんとか」と返しました。自分の勤めていた信金が経営破綻し、生きがいを感じていた信金の仕事ができなくなり、十ヵ月後には失業することになったのです。

信金業界と元上司や仕事仲間が私を育ててくれた訳ですが、それ以上に大きなご存在が三人の恩師です。

一人目の恩師は、**小池榮一先生**です。二十歳の未熟な青年（私）を真の意味で叱咤激励し教育していただきました。小池先生の教えは私にとって人生の羅針盤です。小池先生からは「出世を目指すな。人が押し上げてくれるような人間になれ」と言われました。以後50年に亘ってご指導いただいております。

二人目の恩師は**田中真澄先生**です。信用金庫に入庫して数年後、ご講演を聴いて感動し、以後、著作を読み続けています。人生100年時代の到来を予見し、終身現役の生き方を説き続ける田中先生の教えを素直に受け止め、サラリーマン根性を捨て経営者意識で仕事するようになれたのです。

三人目の恩師は小学校5・6年生時担任の**鳥居泰一郎先生**でした。鳥居先生は、私に読書の楽しさを教えてくれました。幼い頃から母が子供向け名作全集を買ってくれ、本を読んではいました。鳥居先生は皆に「一年で百冊読みましょう」と宣言しました。一冊読むとガリ版で刷られた用紙に感想文を書きますと、鳥居先生がすぐに赤ペンでコメントを書いて褒めてくれるのです。私は鳥居先生に褒めてもらいたくて何冊も読み、何度も感想を書きました。お陰で読書が楽しみになりました。読解力が付き、仕事に役立つ資質を育ててもらったと感謝しています。

三人の恩師の教えで、人生や仕事に対する考え方が磨かれていきました。人生の岐路に立った時、安易な道でなく厳しい道を選ぶようになっていました。信金が経営破綻した時、人事課長だった私は、事業譲渡先から再雇用者のまとめ役として来て欲しいと何度も言われましたが、立場を利用して再雇用に応じるような気がして断りました。

新しく就く仕事は営業の世界しかないことと決意し、失業後、東京海上の代理店研修制度に応募したのです。この制度は、3ヵ月ごとに営業成績の査定があり、基準に満たなければ解雇という厳しい制度でした。実際に保険営業を始める時、「信金業界で育てられたこと」と「三人の恩師の教え」のお陰で業績を挙げる事ができました。

保険営業の世界で私の人生は素晴らしい方向へ導かれて行き、「会社を創業し西相信金の経営破綻で失われた雇用を一人でも復活させること」という夢と希望・志が生まれたのです。現在、当社の「創業の精神」となっております。「世のため人のため、お役に立つ会社」「だれもが働きたい会社」を目指して、アイファーストは一步一步鋭意努力して参ります。



鳥居先生（中央）

代表取締役 鍋島一博





# 2003~2004

## アイファースト創業!

”愛こそ、いちばん”の精神で、一意専心の二年間

仕事に喜びを感じることに。  
勤続25年。信用金庫、思わぬ転機。  
そこから、第二の人生が始まりました。

3年前、十ヶ月に及ぶ事業譲渡の作業を終え、  
保険の世界に飛び込みました。  
飽いてみて、ひとつのことだけは、よく分かりました。  
信金時代と同じです。お客さまのお話しをよく聞いて、解決の道筋を  
ご提示し、喜んでいただくこと。  
わたしは安心しました。  
お客さまと接することに喜びを感じています。  
今、自分自身をふり返り「愛こそいちばん」という  
言葉が浮かびました。仕事を通して私は、わたくしらしい生き方を、  
落ち着いた確信することができたのです。  
平成16年3月1日。「株式会社 アイファースト」は、東京海上の  
代理店として独立いたしました。  
安心をかたちにします。  
育てていただいたこの町から始めます。  
みなさまの温かなご支援に感謝いたします。  
ありがとうございます。

平成16年3月吉日  
株式会社 アイファースト  
代表取締役 鍋島 一博



～ロゴやリーフレットの制作～  
この時期に、ロゴやリー  
フレットが制作されました。  
アイファーストのロゴをデ  
ザインしてくれたのは、大  
手カップ麺などのデザイン  
を手掛けている有名デザイ  
ナーの方にお願ひしまし



### アイファーストの社名秘話

アイファーストとは、アルファベットの *i*  
と英単語 *First* の頭文字を並べた造語で  
す。*i* は日本語の「愛」とかけています。

「愛こそ一番」という意味です。

*i* は情報その他を意味する英単語の頭文  
字を指しています。*First* の綴りにも、**親  
切、ヒラメキ、リスク、精神、信用**といっ  
た意味を含めています。

ほかに *「i」「f」* を並べて *「if」*  
= 「もしもの時のアイファースト」 「もし  
も、お客様が困ったときは、私たちアイ  
ファーストにお任せください、お役に立ち  
ます!」 「もしも」に備えて私どもアイ  
ファーストをご活用ください、という願ひ  
も込めています。

愛/わたくし/eye

「愛」こそ、いちばん

**I First**

IF



### 幸せを永続させること

**アイファーストのたったひとつ違うこと。**  
それはお客さまの「困った」を  
よく聴く事です。そこから多くの安心と  
バランスは生まれました。

●お客さまの困ったことこそ「困る」、  
解決の糸口をお客さまに示すこと、しかも、  
「困る」に即時的な解決策を  
ご提案すること、これがアイファーストの  
強みです。お客さまの困ったことこそ「困る」、  
解決の糸口をお客さまに示すこと、しかも、  
「困る」に即時的な解決策を  
ご提案すること、これがアイファーストの  
強みです。

**「親和のとれた永続的な存続」。**  
そこに人生の土台があり  
アイファーストの創造力があります。

●お客さまの困ったことこそ「困る」、  
解決の糸口をお客さまに示すこと、しかも、  
「困る」に即時的な解決策を  
ご提案すること、これがアイファーストの  
強みです。

**心を聞いて  
お話しただけじゃありません。**  
あたたかな暮らし、  
安心の経営をお伝えします。

●お客さまの困ったことこそ「困る」、  
解決の糸口をお客さまに示すこと、しかも、  
「困る」に即時的な解決策を  
ご提案すること、これがアイファーストの  
強みです。

**流行のLife Plan。**  
コンピュータの計算書で満足  
できるでしょうか。

●コンピュータによる自動計算の「Life Plan」計算書。ひとつ  
足りない場合があります。そのために、その企業の「専任の相談員」  
が人間的な視点から、ライフプランに「目」を付けています。

**Profile**  
生まれたまちで、  
暖かなたちを創ります。  
私は、親和的で温かい、心を開いてお話しします。  
私に代わり、的確なアドバイスを提供します。  
あなたの困ったことこそ「困る」、  
解決の糸口をお客さまに示すこと、しかも、  
「困る」に即時的な解決策を  
ご提案すること、これがアイファーストの  
強みです。

**「愛こそ、いちばん」。**  
貴がらは、そこにありました。  
若い頃は健康でした。人生の土台は、私のお話しで固まりました。  
あなたの困ったことこそ「困る」、  
解決の糸口をお客さまに示すこと、しかも、  
「困る」に即時的な解決策を  
ご提案すること、これがアイファーストの  
強みです。

愛こそ、いちばん

**I First**

愛こそ、いちばんの精神で、一意専心の二年間





バブル崩壊後の失われた十年から脱却の兆しが見え始めた2003年、株式会社アイファーストが設立されました。翌2004年、保険会社での研修を好成績にて修了した鍋島は、3月1日より本格的に事業を開始しました。当初は夫婦二人で奮闘した小さな会社でしたが、次第に志を同じくする仲間たちが加わり、数年で本社の席が満員になるくらいに成長しました。



湯河原町中央二丁目、鍋島家の一階にアイファースト本社を設立。創業期のメンバーも入社しました。



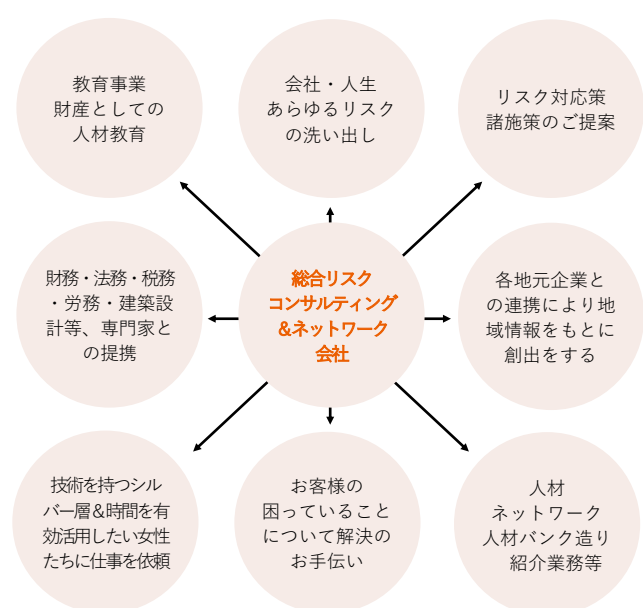
新入社員荒井。席が足りず段ボール機にて仕事(笑)

二十年前の景色です。当時の湯河原の街並を覚えていますか？



## ♡ 私たちが目標とする会社

**私たちの夢・目標** ⇒ お客様の誠実なパートナーとして、経営に役立つ**情報**や**アイデア**、あらゆる**リスク**に備えるためのプラン等を提供することで、お客様から**信頼**される仕事を一生涯貫いていくことです。



## アイファーストが創る *SPIRIT age*

<b>SPIRIT</b>	精神、生命力、魂、熱情
<b>Sincere</b>	誠実=まごころ
<b>Partnership</b>	協力
<b>Information</b>	情報
<b>Risk</b>	損失や危害が生じる可能性
<b>Idea</b>	創意工夫、考え
<b>Trust</b>	信用、信頼
<b>age</b>	時代、一生etc.
<b>ambitious</b>	大志
<b>generation</b>	同時代を生きる人々
<b>eye</b>	ものの見方,視点

私たちが大切にしたい言葉の一部を“spirit age”という綴りに託した造語です。“心の時代”という意味も表現しています。

2004



# 2005~2012

## スーパーオフィス超営業所始動。 地元根差した企業へ

緩やかな経済回復の続く2005年、アイファーストは順調に規模を拡大していきました。社員増加により本社が手狭になり、湯河原駅から程近い土肥に営業所を設立することとなりました。

営業所を拠点として地域への新規開拓を行ったり、地元のイベントに参加したりなど積極的に活動。アイファーストの名前が湯河原町に浸透し始めました。

スーパーオフィス超営業所  
湯河原土肥店 開店！



2005.06~

当時の近所の景色です。



スーパーオフィスの「超」は「超保険」の超です。日本一超保険を販売する代理店として、意気込みをこめて名付けました。

若手社員も順調に採用



アイファーストの社章は、支え合って上昇する二羽の燕です。



記念すべき社章贈呈式は社内です。



ふれあい産業祭

ひっぱりだこのセイメイ君たちです。



2008.10.26

当社の信条・習慣などをまとめた、「アイファースト心得帖」。毎朝の朝礼で復唱しています。



アイファースト心得帖  
(2012.10 第一版)

### アイファーストの日常

私たちは「掃除の行き届いた美しい会社」を目指しています。毎朝、社員全員で会社の隅々まで掃除をするのが日課です。身の回りを清潔にすることで、心もすっきりとリフレッシュできます。夏期と年末にはメンバー一丸となって本格的な大掃除にも取り組んでいます。アイファーストは、美しい会社でお客様をお出迎えしたいと思います。

掃除の後は、朝礼です。発声練習、本日のスケジュール確認、お互いへの感謝の言葉の交換など、様々なことをしています。毎日の習慣が、社員の行動や考え方を育てます。そのため、私たちは、皆で過ごす朝の時間をとても大切にしているのです。



2005

2006

2007

2008



## 鍋島社長の一言

私が大切にしている言葉は、“一期一会”です。

それぞれの人生は波乱に富み、いつ何が起こるか分からない状況です。今日お会いする方々と、またお会い出来るかどうかは“神のみぞ知る”ということではないでしょうか？そのことを考えますと、今日縁あって会えた方との時間は、心から大切にしたいと考えます。



## 私たちが目指す会社12か条

- 1 お客様の誠実なパートナーとして、お客様の信頼に応え、お客様に安心と安全をお届けする会社
- 2 メンバー（仲間）が夢と希望に満ち、健康で、明るい笑顔あふれる会社
- 3 成果を分かち合い、それぞれの能力を発揮できる会社
- 4 自由闊達な社風、分け隔てなく、どのような意見でも言うことが出来る会社
- 5 プロフェッショナルとして正確な業務を行い、法令を遵守する会社
- 6 永続的に発展し、お客様が生涯にわたり信頼できる会社
- 7 一人ひとりが経営者意識で働く会社
- 8 誰でも意欲があれば、力を発揮できる会社
- 9 休みを気持ちよく取れる会社
- 10 お客様の困ったを解決し、社会に貢献し役立つ会社
- 11 掃除の行き届いた美しい会社
- 12 アイファーストは、人が財産、人が資本、人を創る会社

『ボージョレヌーヴォを楽しむ会』に参加



2012.11.15  
株式会社マスコー様主催のボージョレヌーヴォを楽しむ会にアイファーストと東京海上の社員で参加しました。

今年のコンベンションには若手二名が出席



2012.06.12  
専業代理店年間優績表彰制度のコンベンションへ。この年は若手社員が出席しました。

良い会社って何だ会議



2011.06.23  
更にもっと良い会社になるには！？丸一日かけて皆で話し合いました。

毎年恒例のボーリング大会



2009.04.24



F M熱海湯河原、“チャオ！元気いっしょ！”の番組収録に行っていました。2010年7月17日にオンエアされました♪

ラジオにも出演！



2010.07.09

社員紹介動画を星ヶ山で撮影



2011.01.26

本社の近くに駐車を整備



2011.03.11

2011年3月11日、おもしろも東日本大震災の日の午前、土地の契約をしました。

2009



2010

2011

2012



# 2013~2024

## 営業所移転とメンバー合流、 変革と飛躍の十年。



2010年代から、スマートフォンの普及とともにインターネットの利用が急速に拡大しました。アイファーストでもペーパーレスやDXなどデジタル改革を進めました。

2013年末には営業所を土肥から中央に移店し、本社と営業所のメンバーが合流を果たしました。そこから経営理念再構築プロジェクト及びビジョン策定会議を実行、社員全員が参画して、アイファーストの使命を明確化・明文化するに至りました。

また、2023年には超保険第三分野付帯率でTQ代理店内全国一位を獲得。100年続く優良企業を目指し、アイファーストは第二期のスタートを切ったところです。

東北視察旅行



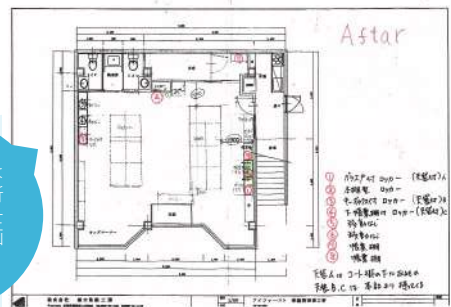
社員旅行を兼ねて東日本大震災の被害地域へ視察旅行に。南三陸・気仙沼・仙台まで足を延ばしました。

次年度活動方針  
決定会議



毎年冬に社員全員で丸一日かけて次年度の計画を立てます。

引っ越し準備は入念に！当社所属の二級建築士による移店計画図です。



留学生指導



東京海上から派遣された留学生鈴木さんと同行営業へ。

営業所引っ越し！  
湯河原中央店開店



本社の二軒隣に営業所を移店。湯河原の中心地、幕山公園通りに面した最高の立地です。



引っ越し直後の新営業所。新店舗記念イベントも実施しました。



2013

2014





駐車場の  
ペイント



アイファースト  
の駐車場の文字  
は社員による  
DIYです。

社員旅行

毎年楽しみに  
している社員旅  
行。全国いろ  
んな場所へ訪  
れています。



2017.10.28  
ヒルトン小田原



劇団四季「アラジン」  
2024.06.07

10周年 &  
新店舗開店イベント

ジョー君の着  
ぐるみを着て  
顧客を待ち続  
ける社員...



2014.3.1

東海留學生  
の壮行会



2014.06.10

今年も東京海  
上から留學生  
を受け入れました。  
新進気鋭の新入  
社員呉地さん  
です。

社員皆で青学  
まで受験に行  
きました。

2015.  
11.15

貸金業務取扱  
主任者資格試験



表彰式



伊勢山ヒルズにて

2016.  
01.22

「社長！私を表彰式  
に連れてって」  
キャンペーンにて入  
賞。鍋島早苗が表彰  
式の乾杯の挨拶を依  
頼されました。

経営理念再構築  
プロジェクト  
・ビジョン策定会議



あんしん  
お届けキャン  
ペーン表彰式  
(品川)  
2017.  
02.13

皆が心を一つ  
にして会社の  
目指すべき未  
来を話し合  
いました。



2018  
~  
2019

家を建てて20年  
間、一度も来な  
かったツバメが初  
めての巣作り。六  
羽の雛が巣立ちま  
した。

## アイファーストのシンボル ツバメ

20周年記念ロゴ  
にもツバメが  
います。どこに  
隠れているかわ  
かりますか？

アイファーストの看板にはツバメが描かれています。24年前、今の本社である鍋島宅に住み着いたツバメが元気に巣立っていったことから、「空へ羽ばたき飛躍する会社になりたい」との思いでアイファーストのシンボルとなりました。

それ以降も、ツバメは毎年のようにアイファーストにやってきます。開け放していた扉から社内さまよひこんで、飛び回っていたこともあります。20周年を迎える今年度も、営業所に二羽のツバメが巣を作りました。アイファーストの幸せの鳥が、当社に幸運をもたらしてくれることでしょう。



この夏も  
ツバメが  
やってき  
ました！



2014

2017

2020

2023

## 2000年 (平成12年)

- 1月 西相信用金庫破綻

## 2001年 (平成13年)

- 1月 鍋島が東京海上日動(以下・東海)のIPになる
- 10月 鍋島がエース8に認定される

## 2002年 (平成14年)

- 6月 エース16認定

## 2003年 (平成15年)

- 3月 エース24認定
- 4月 鍋島が2002年度下半期長期第三分野連続稼働表彰制度最優秀賞認定
- 10月 2003年度上半期「優秀賞」
- 12月16日 (株)アイファースト設立/鍋島一博が代表取締役役に就任、鍋島早苗が役員に就任

## 2004年 (平成16年)

- 2月 鍋島がスーパービッグIPに認定される/IPを卒業
- 3月1日 (株)アイファースト創立
- 4月 2003年度上半期長期第三分野連月成約表彰制度優秀賞認定
- 4月11日 創立祝賀会(おんやど恵様)
- 6月 代理店杉崎充枝と合流

## 2005年 (平成17年)

- 4月4日 湯河原の他代理店と合流
- 4月 2004年度代理店連月成約表彰年間最優秀賞受賞(上期・下期最優秀賞)
- 4月17日 創立一周年感謝会(おんやど恵様)
- 5月30日 松原秀夫が役員に就任
- 6月 スーパーオフィス超営業所湯河原土肥店開店
- 6/12~14 専業代理店年間優績表彰(最優績)/コンベンション(ハワイ)

- 小田原支社佐野支社長



なべしま新聞創刊号(2001.4)

- 6月 「超保険」発売
- 8月 「超ビジネス保険」発売

- 小田原支社堀木支社長

- 10月 東京海上あんしん生命と日動生命が合併し、東京海上日動あんしん生命保険(株)となる

- 小田原支社営業担当下岸さん・オフィス担当中戸川さん/あんしん生命営業担当金子さん

- 10月 東京海上と日動火災が合併、東京海上日動火災保険株式会社となる

- 小田原支社オフィス担当大久保さん

- 2月 明治安田生命及び富士火災海上にて保険金不払いが発覚



超営業所湯河原土肥店

- 今年の漢字 「金」
- 流行語 おっはー/IT革命
- 4月5日 第一次森内閣発足
- 7月4日 第二次森内閣発足
- 10月 千代田生命破綻

- 今年の漢字 「戦」
- 流行語 小泉語録
- 1月20日 米ブッシュ政権一期目
- 4月26日 第一次小泉内閣発足
- 9月11日 アメリカ同時多発テロ事件
- 10月 ノーベル科学賞に野依良治名大教授
- 11月20日 イチローが日本人初の米大リーグMVP受賞

多摩川のタマちゃん



- 今年の漢字 「帰」
- 流行語 タマちゃん/W杯
- 10月 ノーベル物理学賞に小柴昌俊氏、科学賞に田中耕一氏
- 10月15日 北朝鮮拉致被害者5人帰国

- 今年の漢字 「虎」
- 流行語 なんでだろ~/マニフェスト
- 3月~ 新型肺炎(SARS)流行
- 3月20~ イラク戦争勃発
- 9月15日 阪神タイガースが18年ぶりにリーグ優勝
- 11月19日 第二次小泉内閣発足

- 今年の漢字 「災」
- 流行語 チョー気持ちいい
- 8月13~29日 アテネ五輪
- 9月27日 第二次小泉内閣(改造)発足
- 11月2日 米ブッシュ政権二期目
- 10月23日 新潟中越地震(M6.8)

- 今年の漢字 「愛」
- 流行語 小泉劇場/想定内(外)
- 4月25日 福知山線脱線事故
- 5月~ 東南アジア、中国等で鳥インフルエンザ流行
- 6月29日 アスベスト問題報道(クボタショック)
- 9月21日 第三次小泉内閣発足
- 10月14日 郵政民営化法成立

アイファーストの歩み

保険会社関連

社会の流れ

## 2006年 (平成18年)

- 4月 2005年度連月成約優秀賞 (上期優秀・下期最優秀)
- 4月17日 公式HP開始
- 6月14日 (最優績)/コンベンション (ハワイ)
- 7月 ロイヤルステイタスクラブ (以下・ロイステ) 会員認定
- 9月8日 鍋島がロイステ新規会員代表挨拶 (ホテルニューオータニ東京)

## 2007年 (平成19年)

- 4月 2006年度連月成約優秀賞 (上期最優秀・下期優秀)
- 4/2~7/1 東海の行政処分を受け、第三分野が募集停止となる
- 6月 コンベンション (韓国)

## 2008年 (平成20年)

- 3月31日 湯河原の他代理店と合流
- 4月 オザワ保険サービスと合流
- 6月 コンベンション (沖縄)
- 7月 ロイステ・ビッグ認定

## 2009年 (平成21年)

- 9月19日 KSC研修サポートセンター 佐藤カヨ子先生 ビジネスマナー実践講座 (真鶴情報センター)

## 2010年 (平成22年)

- 5月29日 社員旅行はとバスツアー (靖国神社/浅草/中華街)
- 6/7~9 連続1/コンベンション (横浜ロイヤルパークホテル)
- 11月27日 下期チャレンジ会 (真鶴情報センター)

## 2011年 (平成23年)

- 3月11日 駐車場の売買契約
- 4月 スローガン『家族』
- 6月 連続2/コンベンション中止
- 6月25日 社員旅行はとバスツアー (浅草/水道橋ドームホテル)
- 7月30日 アイファースト改善会議

- 小田原支社園田支社長/あんしん生命営業担当池さん



アイファースト初の公式HP



園田支社長



ロイヤルステイタスクラブ

- 11/27~28 あんしん生命10周年記念感謝式典

- 3月14日 保険金不払問題により東海が金融庁から行政処分を受ける

- 小田原支社営業担当永井さん・オフィス担当赤崎さん

- 5月 「TNet」「抜本自動車保険」がサービスイン

- あんしん生命営業担当中田さん

- 小田原支社事務担当植田さん



真鶴情報センター

- 小田原支社石井支社長・営業担当植田さん・事務担当胡桃さん

- 「抜本超保険」「あんしんプロテクト」発売



アイファースト初の社員旅行

- あんしん生命営業担当中田さん



南三陸 大量旗

- 今年の漢字 「命」
- 流行語 イナバウアー/品格
- 2月10~26日 トリノ五輪 荒川静香選手がフィギュアで初の金メダル
- 9月26日 第一次安部内閣発足
- 10月9日 北朝鮮が初の核実験

- 今年の漢字 「偽」
- 流行語 ハニカミ王子/どげんかせんといかん
- 7月~ 米サブプライム問題
- 7月16日 新潟中越沖地震 (M6.8)
- 9月26日 福田康夫内閣発足

- 今年の漢字 「変」
- 流行語 グ〜!/アラフォー
- 4月 後期高齢者医療制度開始
- 6月8日 秋葉原通り魔事件
- 8月8~24日 北京五輪
- 9月15日~ リーマン・ショック
- 9月24日 麻生内閣発足
- 10月 ノーベル賞に日本人4名
- 11月4日 米大統領選でオバマ氏当選



バラク・オバマ氏

- 今年の漢字 「新」
- 流行語 政権交代
- 8月30日 民主党圧勝、政権交代
- 9月16日 鳩山由紀夫内閣発足

- 今年の漢字 「暑」
- 流行語 ゲゲゲの〜
- 1月 日本航空が経営破綻、再建へ
- 6月8日 菅直人内閣発足
- 9月7日 尖閣諸島中国漁船衝突事件

- 今年の漢字 「絆」
- 流行語 なでしこジャパン
- 3月11日 東日本大震災
- 7月17日 なでしこジャパン、FIFA女子W杯優勝
- 9月2日 野田内閣発足
- 12月17日 北朝鮮、金正日総書記が死去



## 2012年 (平成24年)

- 1月 新社屋建設プロジェクト
- 4月 スローガン『チームアイファースト』
- 4月21日 社員旅行(箱根彫刻の森)
- 5月1日 江坂遼(鍋島一博)・著『小説信金破綻』連載
- 5月1日 iPad導入
- 5月18日 襷をつなごう神奈川駅伝表彰(2011年度生保・長期第三分野の部総合優勝)
- 6月8日 松原秀夫が役員を辞任、加藤遥が役員に就任
- 6/11~13 連続3/コンベンション(札幌コンベンションセンター)
- 6月23日 いい会社ってなんだ会議(真鶴情報センター)
- 9月7日 ロイステ(帝国ホテル東京)

## 2013年 (平成25年)

- 4月 スローガン『原点回帰～新生アイファースト～』
- 5月10日 12年度襷表彰(総合優勝)
- 5月27日 公式Facebook開始
- 5/31~6/1 東日本大震災跡地視察旅行(仙台/南三陸/気仙沼/松島)
- 6/6~8 連続4/コンベンション(ヒルトン福岡シーホーク)
- 7月1日 荒井正太郎が役員に就任
- 7月 TOPQUALITY代理店ランクII認定
- 12月14日 MJ大会
- 12月27日 営業所引っ越し作業

## 2014年 (平成26年)

- 1月6日 超営業所湯河原中央店開店
- 3月1日 10周年記念特別イベント
- 4月 スローガン『アイファースト第二章～創業から、新生へ。～』
- 5月 田中真澄氏・著『人生の勝負は後半にあり～中・高年起業のすすめ～』成功事例掲載
- 5/19~20 連続5/コンベンション(グランドプリンスホテル広島)
- 9月 エヌエヌ生命保険・日本生命保険取扱開始
- 12/20・1/31 KSC佐藤カヨ子先生ビジネスマナー実践講座

- 1月 「ちょいのり保険」発売
- 4月 自動車保険の「らくらく手続き」開始
- 4月17日 「モバイルエージェント」開始



いい会社って何だ会議

- 1月 「超保険」の加入者数が150万件を突破
- 1/22 「メディカルkitR」発売
- 4月 「あんしんらくらく手続き」開始



スローガン

- 小田原支社難波支社長・事務担当中嶋さん



難波支社長

- 5/20~6/14 東海より鈴木さん代理店留学
- 12月 シンプルプロセスプロジェクト開始



東海留学生・鈴木さんと土肥営業所前にて

- 2月2日 「kitラヴR」発売
- あんしん生命営業担当松谷さん
- 5月 アイエヌジー担当者十河さん
- 5月20日 あんしん太郎IIオンライン化
- 6/9~7/4 東海より呉地さん代理店留学

- 今年の漢字 「金」
- 流行語 ワイルドだろお
- 4月11日 北朝鮮、金正恩氏を第1書記に
- 5月22日 スカイツリー開業
- 7/27~8/12 ロンドン五輪
- 10月 ノーベル医学・生理学賞に山中伸弥教授
- 11月6日 米オバマ大統領再選
- 12月17日 第46回衆院選自公圧勝、政権奪還
- 12月26日 第二次安倍内閣発足



スカイツリー

- 今年の漢字 「輪」
- 流行語 今でしょ!/お・も・て・な・し /じぇじぇじぇ/倍返し
- 6月 スノーデン事件
- 6月14日 アベノミクス始動
- 12月6日 特定秘密保護法成立



ドラマ『半沢直樹』の台詞「やられたら、やり返す。倍返しだ!」が大流行。

- 今年の漢字 「税」
- 流行語 ダメよ～ダメダメ/集团的自衛権
- 1月～ STAP細胞問題
- 2月20日～ ウクライナ危機
- 4月16日 韓国セウォル号沈没
- 6月～ エボラ出血熱感染拡大
- 6月29日 イラクのスニ派の過激派、イスラム国家樹立宣言
- 7月1日 解釈改憲で集团的自衛権の容認
- 8月20日 広島市の土砂災害
- 9月27日 御嶽山噴火
- 10月 ノーベル物理学賞に日本人3名
- 12月24日 第三次安倍内閣発足

アイファーストの歩み

## 2015年 (平成27年)

- 2月18日 創立10周年記念式典 (おんやど恵様にて)
- 4月 スローガン『前進』
- 6/1~2 連続6/コンベンション (国立京都国際会館)
- 8月 住宅ローン(フラット35)業務開始/ARUHI湯河原中央店開店
- 12月5日 社員旅行 (クレマチスの丘/三島大社/沼津港/さかなや千本一)



クレマチスの丘

## 2016年 (平成28年)

- 4月 スローガン『挑戦&スクラム』
- 6月 連続7/コンベンション中止
- 6月10日 社員旅行 (大口河川敷パークゴルフ場/アサヒビール工場)
- 10月21日 オフィスコンサル (湯河原町商工会)
- 12月16日 オフィスコンサルフィードバック

## 2017年 (平成29年)

- 3月 ARUHI湯河原中央店閉店
- 4月 ハウス・デポ住宅ローン紹介業務開始
- 6/5~6 連続8/コンベンション (フェニックス・シーガイア・リゾート)
- 9月8日 ロイステ・エクセレント認定/鍋島が代表挨拶をする。(ザ・プリンスタワー東京)
- 11月5日 日曜営業スタート

## 2018年 (平成30年)

- 4月 スローガン『同腹一心』
- 6/7~8 連続9/コンベンション (ホテルオークラ神戸) / 超保険特別賞
- 10~12月 経営理念再構築プロジェクト
- 10/26~27 社員旅行 (蓼科エキシブ/かんとんばば/シャトレーゼ)

保険会社関連

■小田原支社磯部支社長・支社便木村さん/エヌエヌ担当者佐久間さん



磯部支社長

■6/6~20 東海より仁科さん代理店留学



ARUHI 湯河原中央

■2月18日 「TNetTabアプリ」リリース

■ニッセイ鹿子島所長

■5月29日 保険業法改正 (意向把握義務、情報提供義務、保険募集人に対する体制整備義務)

■10月13日 あんしん生命20周年感謝式典



パークゴルフ

■小田原支社大久保支社長/あんしん生命営業担当加藤さん・上月さん/ハウス・デポ担当者北野さん



大久保支社長

日曜営業チラシ

■4月 DAP販売開始

■4月2日 ニッセイ「プラチナフェニックス」発売

■10月17日 「災害保障期間付定期保険」発売

■小田原支社営業担当相原さん/あんしん生命濱中さん/

■5/14~28 東海より島さんが代理店留学

■8月20日 「リモートらくらく手続き」開始

社会の流れ

- 今年の漢字 「安」
- 流行語 爆買い/トリプルスリー
- 2月1日 ISが日本人人質殺害
- 4~12月 世界各地でイスラム過激派テロ勃発
- 7月~9月 新国立競技場建設・エンブレム白紙に
- 8月 ギリシャ金融危機
- 9月30日 安全保障関連法の成立
- 10月 ノーベル賞医学生理学賞に大村智教授、物理学賞に梶田隆章氏
- 11月 COP21でパリ協定採択

- 今年の漢字 「金」
- 流行語 神ってる
- 1月28日 日銀、マイナス金利を初導入
- 4/14・16 熊本地震 (M6.5/M7.3)
- 6月23日 英国がEU離脱
- 8/5~21 リオデジャネイロ五輪
- 11月9日 米大統領選でトランプ氏勝利

- 今年の漢字 「北」
- 流行語 インスタ映え/村度
- 6月26日 将棋の藤井聡太四段が29連勝
- 7月5日 九州北部豪雨
- 10月6日 電通、労働基準法違反で有罪判決
- 11月1日 第四次安倍内閣発足

- 今年の漢字 「災」
- 流行語 そだねー
- 2月9~25日 平昌五輪
- 6月8~9日 G7シャルルボワ・サミット
- 6月12日 米朝がシンガポールで史上初の首脳会談
- 7月6・26日 オウム真理教元教祖や幹部13人が死刑執行
- 11月19日 日産ゴーン会長を逮捕



G7での安倍晋三氏とドナルド・トランプ氏

## アイファーストの歩み

# 2019年

(平成31年/令和元年)

- 3月 健康経営優良法人認定
- 4月 はなさく生命保険取扱開始
- 4月 スローガン『虹色飛翔』
- 5～6月 ビジョン策定会議
- 6月 日曜営業終了/エヌエス生命保険取扱終了
- 6/3～4 連続10/コンベンション(ロイトン札幌)
- 6月18日 田中真澄先生講演会(スーパーオフィス超営業所)
- 8月21日 創立15周年記念家族感謝会(エキシブ湯河原離宮)
- 9月2日 ロイステ(ホテルニューオータニ大阪)
- 9月21日 第一回アイファーストカップ(サッカー)
- 10月10日 小田原の他代理店と業務提携開始

# 2020年

(令和2年)

- 3月 健康経営優良法人2年連続認定
- 4月 スローガン『一致団結』
- 6月 連続11/コンベンション中止
- 11月13日 江坂遼(鍋島一博)・著『小説信金破綻』上梓

# 2021年

(令和3年)

- 3月4日 KSC佐藤カヨ子先生ビジネスマナー実践講座(熱海第一ビル)
- 3月 健康経営優良法人3年連続認定
- 4月 スローガン『あせらずあわてず あきらめず』
- 4月 ハウス・デポ住宅ローン業務開始/委員会発足
- 6月 連続12/コンベンション中止
- 11月28日 第一回愛ファースト学童野球交流大会
- 12月5日 第二回アイファーストカップ(サッカー)

## 保険会社関連

- 2月7日「損保クラウド」リリース
- 小田原支社営業担当瑞季さん・支社便藤間さん/ニッセイ営業担当重松さん
- 5/15～29 東海より山神さん代理店留学
- 8月20日「FAQ+」リリース



かながわ健康企業宣言

- 2月15日 スマnavi開始
- 小田原支社事務担当今井さん/ニッセイ前川所長
- 5月19日 「汎用請求書」開始
- 8月18日 「代理店向けSPS」サービスイン
- 12月15日 「リモートらくらく手続き」開始

- 小田原支社営業担当鹿嶋さん/あんしん生命営業担当八田さん

- 4月 損保「WEB口振」開始
- 6月1日 自賠責「TMOダイレクト対応」開始
- 10月26日 「TNEXT」サービスイン



アイファーストカップ (ゆめ公園)

## 社会の流れ

- 今年の漢字 「令」
- 流行語 ONE TEAM
- 4月30日 平成の天皇陛下が退位
- 5月1日 皇太子徳仁親王殿下が第126代天皇に即位
- 6月9日 香港逃亡犯条例改正案反対デモ
- 7月18日 京都アニメーション放火、36人死亡
- 9/20～11/2 ラグビーW杯日本大会開幕、日本が8強に
- 10月1日 消費税10%スタート
- 10月9日 ノーベル化学賞に吉野彰氏
- 10月31日 沖縄の首里城が焼失



営業所にて元号発表の瞬間を社員皆で視聴

ダイヤモンド・プリンセス号にてコロナ集団感染を確認



- 今年の漢字 「密」
- 流行語 3密
- 1月31日 英国がEU離脱
- 3月11日 WHOがパンデミック宣言
- 4月7日 新型コロナウイルス感染拡大、緊急事態宣言
- 7月3～31日 九州豪雨
- 7月16日 藤井聡太七段最年少タイトル
- 9月16日 菅義偉内閣発足
- 11月3日 米大統領選でバイデン氏当選

- 今年の漢字 「金」
- 流行語 リアル二刀流/ショートタイム
- 1月2～3日 駒澤大一年鈴木芽吹選手、第97回箱根駅伝にて好成績
- 7月3日 伊豆山で土石流
- 7/23～8/8 東京五輪2020が一年延期して無観客で開催
- 8月4日 デルタ株猛威、コロナ感染者2億人超
- 10月4日 第一次岸田内閣発足
- 10月26日 眞子さま、小室圭さん結婚
- 11月18日 大谷翔平が米大リーグでMVP受賞
- 11月26日 オミクロン株急拡大



新国立競技場



大谷選手のホームラン (2021.8.18コメリアパーク)



アイファーストの歩み

保険会社関連

社会の流れ

2022年 (令和4年)

- 1月1日 (有)ウェブ様と業務提携開始
- 1月28日 保険毎日新聞に『地域に根差した代理店』として掲載
- 3月 健康経営優良法人4年連続認定
- 4月 スローガン『変化は進化のチャンス』
- 4月 ロイヤルステイタスクラブ・ビッグ認定
- 5/30~31 連続13/コンベンション(お台場)
- 9月17日 第三回アイファーストカップ(サッカー)
- 10月25日 20周年記念事業発足
- 11月3日 第二回愛ファースト学童野球交流大会

2023年 (令和5年)

- 2月 超保険生保第三分野付帯率全国1位達成(TQ代理店497店中)
- 2~4月 熱海新聞にて『追想西相信用金庫』連載
- 3月 健康経営優良法人5年連続認定
- 4月 スローガン『めざせ100年企業』
- 5月2日 ウィンドウモニター導入
- 5月11日 社員旅行(サニーテーブルラスカ茅ヶ崎)
- 5月29日 公式Instagram開始
- 6/2~3 連続14/コンベンション(ホテルオークラ神戸)
- 6/15・8/15 ぱるす出版(株)のぱるす通信第216・218号に『湯河原に生まれ湯河原に生きる』が掲載
- 7月12~3日 Miriz様にて研修(仙台)
- 9月16日 第四回アイファーストカップ(サッカー)
- 11月19日 ソニー生命取扱開始
- 11月23日 第三回愛ファースト学童野球交流大会
- 11月25日 20周年記念家族感謝旅行(チームラボ、浅草ビューホテル)
- 11月30日 公式LINEスタンプ発売
- 12月1日 湯河原の他代理店と業務提携開始
- 12月16日 設立20周年記念日

■小田原支社山田支社長・営業担当長島さん/あんしん生命営業担当若林さん/ニッセイ橋本所長



山田支社長

- 6月30日 「超保険」加入者200万件を突破
- 10月 「電子署名」サービスイン
- 11月22日 「照会・依頼システム」サービスイン



日本一達成ポスター

- 2月27日 超保険相続手続き「TMOダイレクト対応」開始
- あんしん生命営業担当小松さん/ソニー生命担当諸岡さん/はなさく生命担当菅原さん
- 9月5日 「TNEXT×LINE」リリース
- 10月 あんしん生命AIマッチング開始
- 12月5日 「かんたんオンライン直談」リリース
- 12月20日 東海が城田宏明執行役員(54)が24年4月1日付で社長に昇格する人事を発表
- 12月20日 超AIプランニングの保険提案システムがビジネスモデル特許取得
- 12月26日 東海が保険料調整行為に関する業務改善命令受領
- 12月末 マイページ登録者数500万人到達



愛ファースト学童野球交流大会

- 今年の漢字 「戦」
- 流行語 村神様
- 2月4~20日 北京五輪
- 2月24日 露、ウクライナ侵略
- 4月23日 知床遊覧船沈没事故
- 7月8日 安倍晋三銃撃事件
- 9月8日 英エリザベス女王死去
- 10月3日 ヤクルト村上56本塁打・三冠王に
- 11月30日 ChatGPTが公開される



カシュニの滝(知床)



AI化が急速に進む。DXの時代へ

- 今年の漢字 「税」
- 流行語 アレ(A. R. E.)
- 3月2日 幸福の科学総裁大川隆法氏死去
- 3月21日 侍ジャパンWBC優勝、大谷がMVPに
- 5月8日 新型コロナ「5類」に移行
- 5月17日 市川猿之助一家心中事件
- 5月19~21日 G7広島サミット開催
- 6月2日 マイナンバーカードと健康保険証の一体化へ法案可決
- 7月18日 ビッグモーター不正公表
- 8月 原発処理水放出
- 8月31日 そごう・西武売却、大手デパートの61年ぶりストライキ
- 9月7日 ジャニーズ事務所性加害問題
- 9月13日 第二次岸田内閣発足
- 9月30日 タカラジェンヌ飛び下り事件
- 10月7日 イスラエル・ハマス軍事衝突
- 10月11日 将棋の藤井聡太名人・竜王が史上初の「八冠独占」を達成
- 11月 各地でクマ被害、死傷者が過去最多に
- 11月5日 阪神38年ぶりに日本一に
- 11月15日 創価学会名誉会長の池田大作氏死去
- 12月9日 大谷翔平選手がドジャーズ移籍を発表
- 12月 松本人志性加害疑惑

## アイファーストの歩み

# 2024年 (令和6年)

- 1月1日 小田原の他代理店と業務提携開始
- 1月31日 次年度活動方針決定会議
- 2月6日 社内に壁面モニター設置
- 3月1日 創立20周年記念日
- 3月1~3日 20周年記念来店イベント
- 3月5日 創立20周年祝賀会 (おんやど恵様)
- 3月12日 健康経営優良法人6年連続認定
- 3月31日 はなさく生命取扱停止
- 4月 連続15/コンベンション休止
- 4月18日 生産性UP会議
- 6月7日 社員旅行 (劇団四季)
- 6月24日 スローガン『団結なくして成功なし』

## 保険会社関連

- 1月16日 SSB完全移行
- 2月19日 情報ハイウェイ・e-manualリニューアル/FAQ+サービス終了



社内モニター設置

- 3月1日 東海が金融庁へ業務改善計画書を提出
- 3月7日 東京海上日動アカデミーの廃止を発表

- あんしん生命営業担当根本さん/ソニー生命担当國保さん・東さん/ニッセイ山中所長

- 6月17日 「どうぶつ健保」販売開始



劇団四季劇場

## 社会の流れ

- 1月1日 能登半島地震 (M7.6)
- 1月2日 JAL機と海保機の衝突事故
- 1月19日 自民党裏金事件
- 1月21日 天皇盃第29回全国男子駅伝にて鈴木芽吹選手が7区区間記録を20年ぶり更新
- 1月25日 京アニ放火殺人事件青葉真司被告に死刑判決
- 1月20日 SLIMが日本初の月面着陸に成功
- 2月6日 小澤征爾さん心不全で死去
- 2月17日 JAXA、H3ロケット2号機打ち上げ成功
- 2月22日 日経平均株価が34年ぶり史上最高値更新
- 3月1日 漫画家・鳥山明さんが急性硬膜下血腫で急逝
- 3月19日 金融政策決定会合で YCCの撤廃決定
- 3月22日 小林製薬、紅麹自主回収の発表
- 3月26日 水原一平元通訳の違法賭博問題
- 4月3日 台湾東部沖地震 (M7.2)

## 鍋島一博 実績・講演録

- 2001/10 エース8認定 (単月エース通算認定回数8回/12カ月以内)
- 2002/6 エース16認定 (〃16回/24カ月以内)
- 2003/3 エース24認定 (〃24回/36カ月以内)
- 2003/4 2002年度下半期長期第三分野連続稼働表彰制度 最優秀賞
- 2003/10 2003年度上半期長期第三分野連月成約表彰制度 優秀賞
- 2004/2 スーパービッグIP (総合SAランク以上) 認定/全国最高成績にてIPを卒業/取扱 (既往1カ年) 274,708千円 (うち一般種目計27,614千円) /顧客数 個人245軒 法人88軒
- 2006/6/1 あんしん生命講演会 (関東エリアBL研)
- 2007/2/14 I P 全体会 (東京新都心支店)
- 2008/1/10 新春セミナー講演会 代理店経営及びお客様開拓 (千葉支店)
- 2008/4/3 I P 全体会 超保険セミナー
- 2008頃~現在 経営者研修の定例化
- 2010/2/1 I P 全体会
- 2010/2/8 講演会 (京葉支店)
- 2011 新春セミナー講演会 (千葉支店)
- 2011/2/15 福島コンサル倶楽部 超保険販売について (東海福島支店)
- 2011/7/7 KEIYOコンサル倶楽部第7回セミナー 保険は人の幸せを守るか
- 2012/10/3 あんしん生命研修会 (MBS)
- 2012~2015 鍋島塾 (MBS)
- 2013/6/25 朝日会講演 (FORUM246)
- 2013/8/24~25 鍋島塾夏合宿 (青巒荘様)
- 2014/1/16~17 神奈川県北部朝日会消費増税対策セミナー (FORUM246)
- 2015/9/25 管理者研修
- 2018/11/16 オフィス勉強会 (小田原支社)



## 著作

鍋島の半生を元に記した、『小説信金破綻』。実際に経営破綻した信用金庫をモデルに綴った、リアルな金融機関小説です。

～あらすじ～

バブル崩壊から10年、とある地方の中堅信金だった『東南信用金庫』の経営破綻が発表された。バブル期に不良債権処理を怠った、当時の経営陣の失敗により金融庁検査の結果、25億円の債務超過となり総資産1千億円、80年の歴史を誇った『東南信用金庫』はあっさりと潰れることとなった――



Amazonにて  
発刊中

著・江坂遼（鍋島一博）

## 恩師

### ▶ 小池榮一先生

神奈川大学名誉教授  
小池ゼミナール六池会最高顧問

心の師と仰ぐ小池先生に初めてお会いしたのは神奈川大学一年の時に受講した教育心理学の教室でした。先生の講義は面白く時に学生の笑い声も誘いましたが、彼らに媚びることなど微塵もなく凛とした雰囲気でした。小池ゼミの門を叩いてから半世紀、先生から賜った人生の教えは数え切れません。今の私の、そしてアイファーストの精神を形作ってくださった方の一人です。

#### 【小池先生の箴言（抜粋）】

**Doingの精神**…不言実行のこと。小池ゼミの核となる精神（=教え）である。次は有言実行へと進む。**挨拶・返事・靴ぞろえ（後片付け）**…人間行動の基礎基本（しつけ）の習得であり、人間関係の基礎でもある。

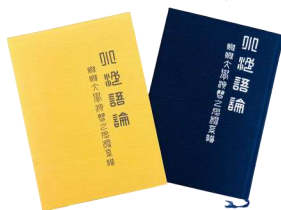
**3V…3Vとは、バイタリティー（活力）ビジョン（洞察力）ベンチャー（冒険）**のことである。



神奈川大学最終講義（2004年）



小池ゼミ第四期生



ゼミ生の手による編集  
『小池語論』（2006年発行）

### ▶ 田中真澄先生

社会教育家  
ヒューマンスキル研究所所長

田中先生とのご縁は、信用金庫勤務時代の28歳の頃が始まりでした。お客様向け講演会で招かれた先生のご講義に深く感銘を受けそれから私は田中先生の著作を購入し続け、講演テープは暗記するほど聴き続けたのです。そして信用金庫の経営破綻後、保険業界に飛び込んだ私は、三年間の研修期間を経て再び先生に巡り会うこととなりました。偶然にも、研修の最終講義が田中先生だったので。

それ以来、いつか田中真澄先生を当社にお呼びして、ご講演をしていただくのが夢でした。この夢もその後、実現することとなりました。“人は思うことが実現する”ということも田中真澄先生から教わったことです。



研修の最終講義後（2004.2.24）



田中先生の講演会にて

社員全員で朝礼にて音読し続けています。先生のマインドはアイファーストに確実に根付いています。



## アイファーストの未来

私たちには夢があります。

それは、私たちのための、そしてお客様のための、心安らぐ社屋を建てること。

社員にとっては、生活の半分を過ごすオフィスをより居心地よく快適な空間に、

お客様にとっては、一生涯のことを相談する場所をより安心して心休まる憩いの場に、

まるで地域の休息地のような、幸せで温かい会社になりたい。

それがアイファーストの、社屋に寄せる夢です。

2012年1月、私たちは建築士・今田明宏氏に新社屋の設計を依頼しました。

現在駐車場として使用している敷地に理想の店舗を建設したら、ということをも

具体的に話し合い、将来の計画を立てました。

アイファーストでは、メンバー一人ひとりが会社の経営を考え、共に参画します。

自由闊達で、明るい笑顔にあふれた職場となること。

どの社員にとっても働きやすく、また地域から働きたいと憧れられる会社となること。

社員みんなで、私たちにとっての心地よい働き方、お客様へのもてなし方、

あるべき会社の姿を思い描きました。

常に私たちの目線の先には、次の時代に向けた未来予想図があります。

夢は大きく、目標は高く。

いつか叶える未来に向かって、私たちは歩みを止めません。





建築士 今田明宏様  
協力 今田 梢様

100年続く企業を目指して、この先も

アイファーストは、もっと未来へ。

株式会社アイファーストを起業して20年。

一つの会社が10年間生存するのは約70%、

20年間生存するのは約50%という統計が出ています。

アイファーストは2分の1の確率で生き残ったわけです。

これを永續させていくために、何ができるのか？

どのような会社に、どのような私たちになりたいか？

私たちはこの先の未来を想い、

自分たちの手で創り上げていきます。

想像から創造へ、

アイファーストの未来創造図を、皆様と共に。

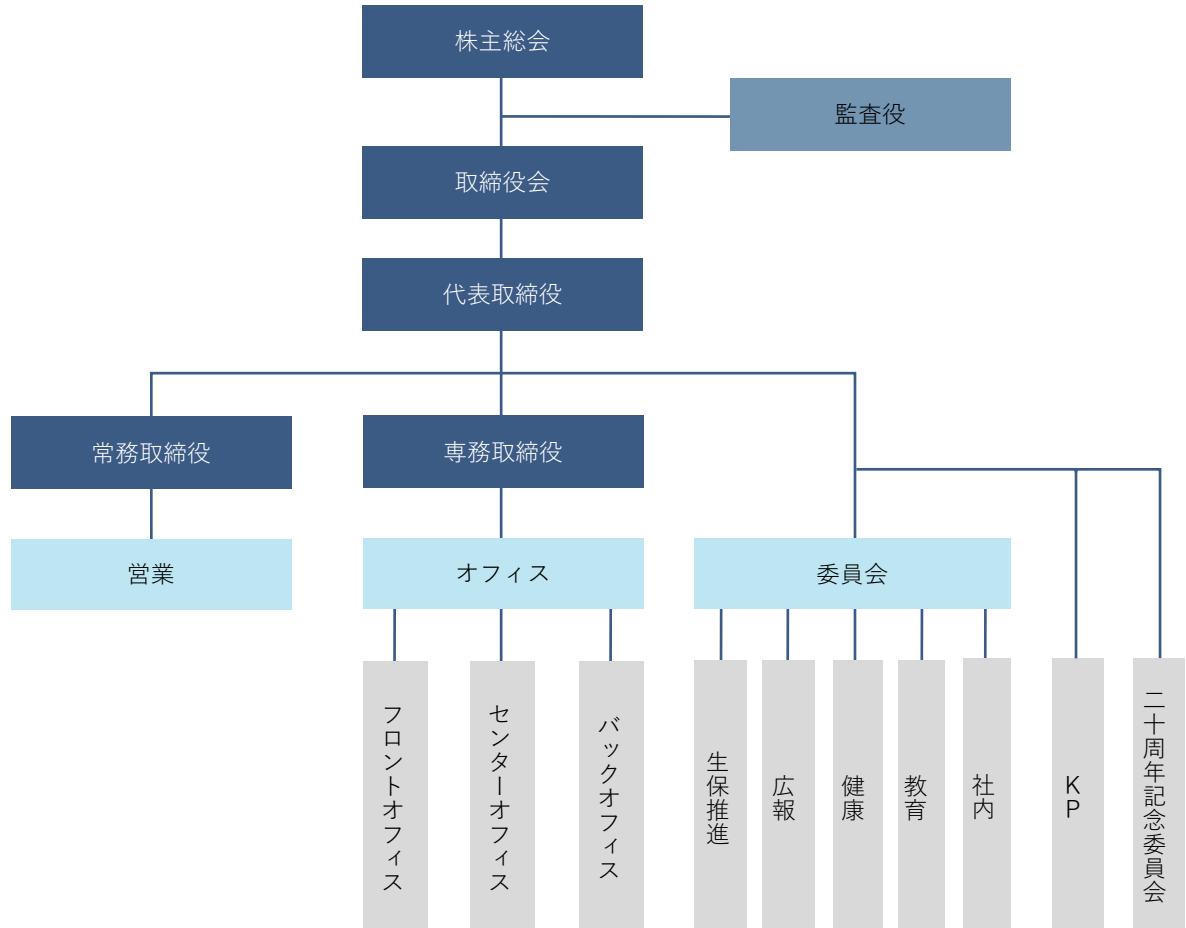




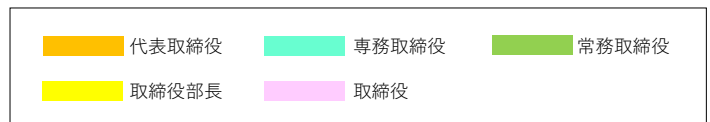
*Toward to the centennial First.*

# 資料

## 組織図



## 歴代役員任期

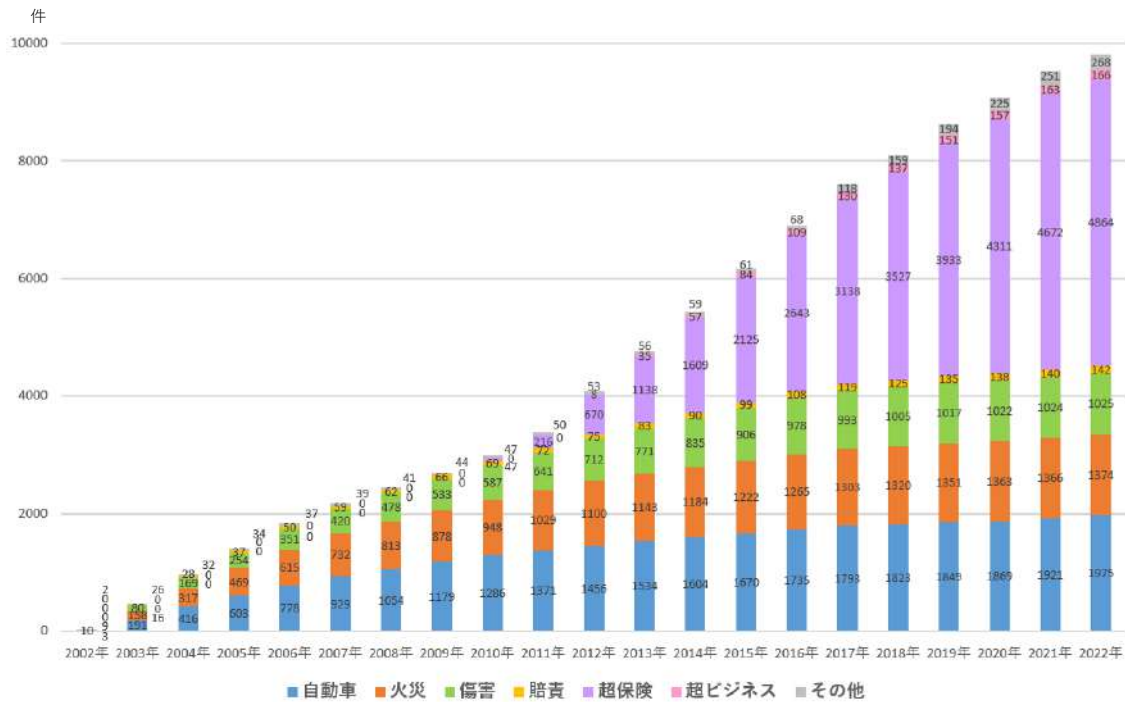


西暦	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	
元号	平成15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	令和1	2	3	4	5	6	
鍋島一博	12/16																						
鍋島早苗	12/16																						
松原秀夫			5/30							6/8													
荒井正太郎											7/1									4/1			
加藤遥										6/8							12/31					4/1	

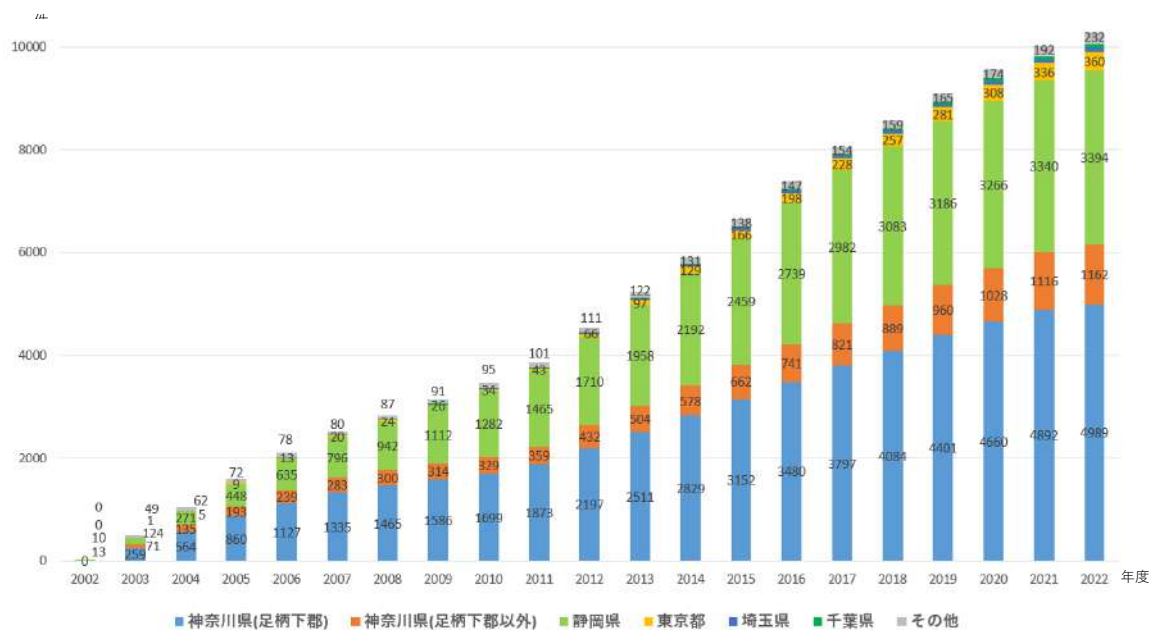


# 業績と規模の推移

## ◆契約種目数

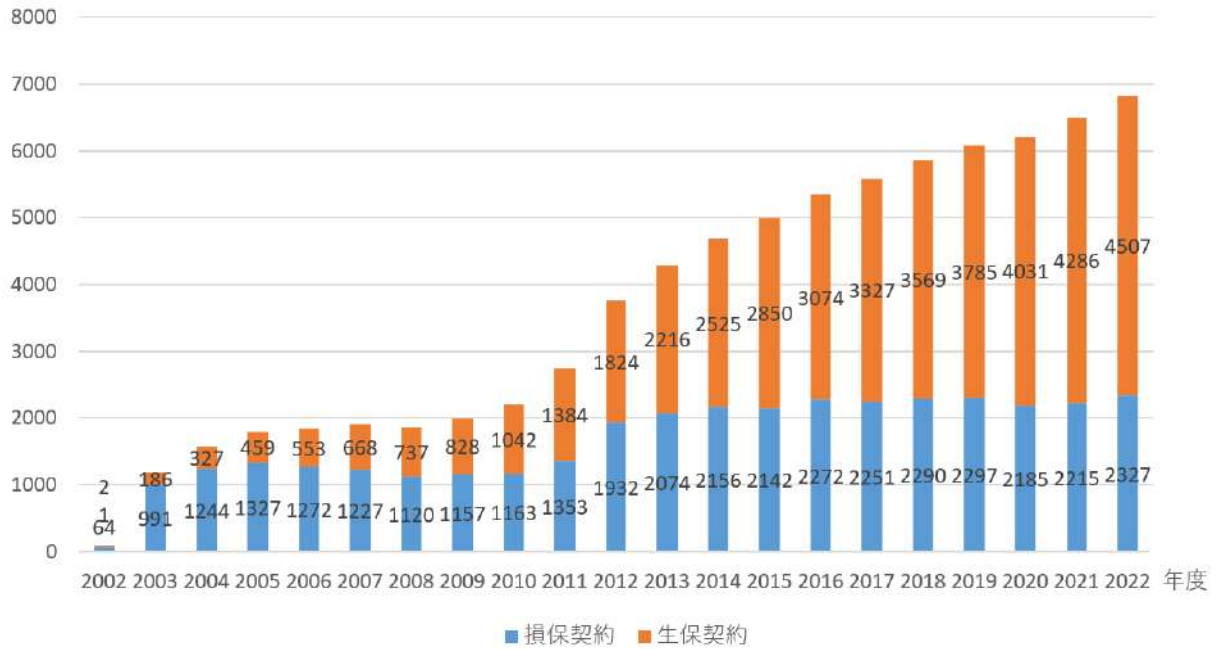


## ◆契約地域

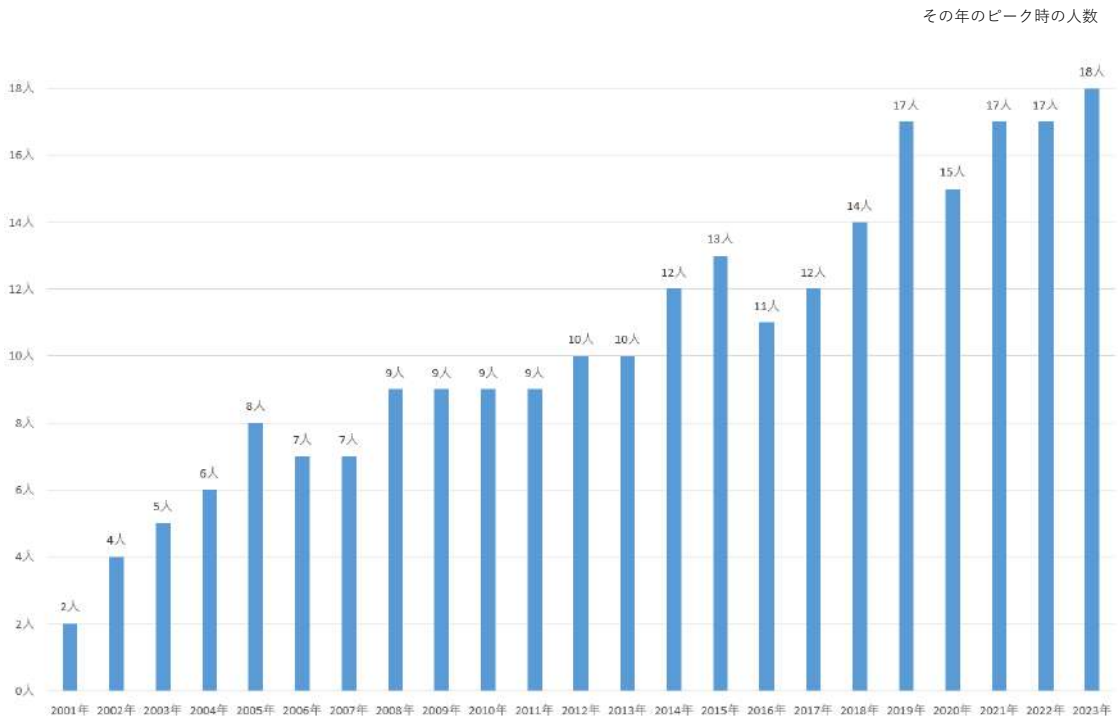




### ◆ 契約数



### ◆ 社員数



## あとがき

株式会社アイファーストは、皆様のおかげをもちまして令和六年三月一日に創立二十周年を迎えることができました。

これを記念した事業の一環として、『創立20周年記念誌』を発刊致しました。この記念誌は、アイファースト創設者であり代表取締役鍋島一博の創立当初の想いを記し、二十年間の会社の歩みや活動を掘り起こして、当社の礎となる「アイファーストの心」を確実に後世に残していくことを目的として編纂致しました。

制作に際して、資料集めや冊子の構成、デザインなど、初めての体験ばかりで、遠回りとは行錯誤を繰り返しての作業となりました。膨大な資料をしらみつぶしに調べて過去の写真を探し出したり、大事な出来事の正確な日付が判明せず方々の文書に当たったり、昔のデータをアーカイブから遡って引き上げ編集し直したりなど、非常に難儀いたしました。委員会に創業当時のメンバーがいないために、過去に何があったか、どういう流れで今の姿となったのかなど、具体的なことを知るのにも苦心しました。

この先アイファーストの歴史を連ねていくにあたって、いつ何が起こったか、その時誰が関わっていたのか、どういう結果に繋がったかなど、都度、写真やデータなどを正確に残し、記録を積み重ねていくことが大事だと切に思いました。この記念誌発刊を始まりとして、当社の今と未来を綴り続けていき、次世代に繋げていきたいと考えております。

末筆になりますが、いつも社員を支えてくださっているご家族の皆様、当社を応援していただいているお客様、記念行事にご参加くださった方々、ご祝辞をご寄稿くださった方々、東京海上日動を始め保険会社の方々、これまでアイファーストに関わってくださったすべての方々に、厚く御礼申し上げます。

これからも皆様のご支援ご愛顧にお応えすべく誠心誠意邁進し、この先百年続く企業となるよう、ここにアイファーストのさらなる飛躍をお約束する所存です。

令和六年七月十七日

20周年記念事業記念誌委員会

委員長 加藤 遥

山本賢一

鈴木美紀

---

### 創立20周年記念誌

発行 株式会社アイファースト

発行日 令和6年7月

編集 20周年記念事業記念誌委員会

印刷・製本 有限会社タケダ印刷様

---

